

No. 12

ブルキナ・ファソ共和国

ブルキナ・ファソ派遣隊員
巡回指導調査報告書

JICA LIBRARY



J1164388(9)

平成13年4月

国際協力事業団

青年海外協力隊事務局

青海2

JR

01-06

ブルキナ・ファソ派遣隊員巡回指導調査報告書

平成13年4月

国際協力事業団

青年海外協力隊事務局

青海2 JR 01

JICA

531

36

JR

LIBRARY

目 次

➤ 写真	=====	I
➤ 隊員配置図	=====	VI
第1章 調査概要	=====	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的		
1-2 調査団の構成		
1-3 調査項目		
1-4 調査方法		
1-5 調査日程		
1-6 面会者リスト		
第2章 巡回指導調査の総括と提言	=====	5
2-1 総括		
2-2 提言		
第3章 巡回指導調査結果	=====	7
3-1 ブルキナファソ調整員事務所における隊員活動に対する評価と、 今後の取り組みについて		
3-2 隊員配属先（語学訓練校を含む）における隊員の活動に対する取 り組みと隊員の受入体制について		
3-3 隊員のこれまでの活動に対する自己評価、問題点とその解決方法 について		
3-3-1 隊員のこれまでの活動と問題点・改善案について		
3-3-2 アンケート結果		
3-4 地方苗畑改修計画グループ派遣について		
3-5 ブルキナ・ファソ調整員事務所の業務体制と必要な支援について		
3-6 環境教育分野における要請背景調査		
3-7 現職派遣制度と緊急連絡網について		



1164388{9}

別添資料：

1. 平成13年度末ブルキナ・ファソ国専門家及び隊員配置図、 緊急連絡手段（予定）	-----	1
2. ブルキナ・ファソ国隊員活動バーチャート	-----	2
3. ブルキナ・ファソ大臣など一覧	-----	3
4. 語学研修プログラム（一部ドラフト）	-----	4
5. 国立青年スポーツ学院概要（フランス語）	-----	17
6. 地方苗畑改修計画グループ派遣概要	-----	23
7. 地方苗畑改修計画協力隊要請計画書（日本語意識・フランス語）	-----	24
8. 地方苗畑改修計画PDM（日本語・フランス語）	-----	25
9. 地方苗畑改修計画アクションプラン（日本語・フランス語）	-----	27
10. 関係省庁系統図	-----	34
11. ブルキナファソ行政区分と地方苗畑地図	-----	42
12. 地方苗畑改修計画2001年アクションプラン（フランス語）	-----	43
13. アンケート結果	-----	75
14. アンケート内容	-----	83



ブルキナ・ファソ調整員事務所から眺めた
ワガドゥグ市内の様子

岡野隊員（12/1・視聴覚
教育）と同僚

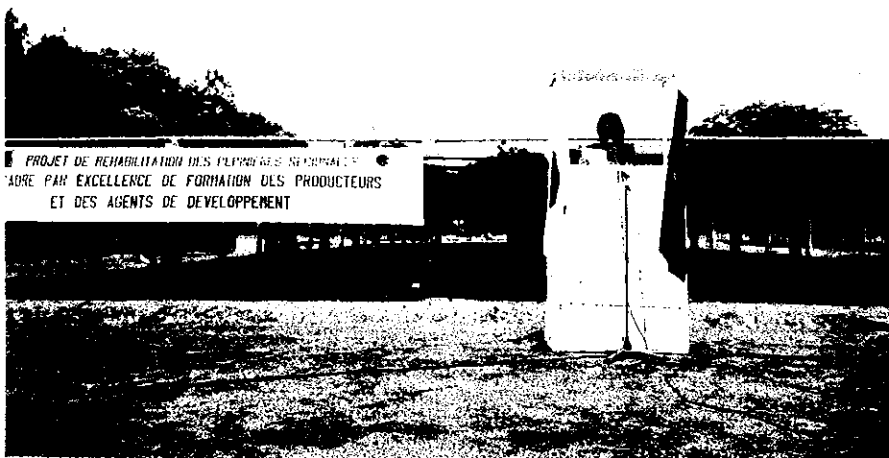


友井隊員（12/1・幼稚園教諭）の活動風景

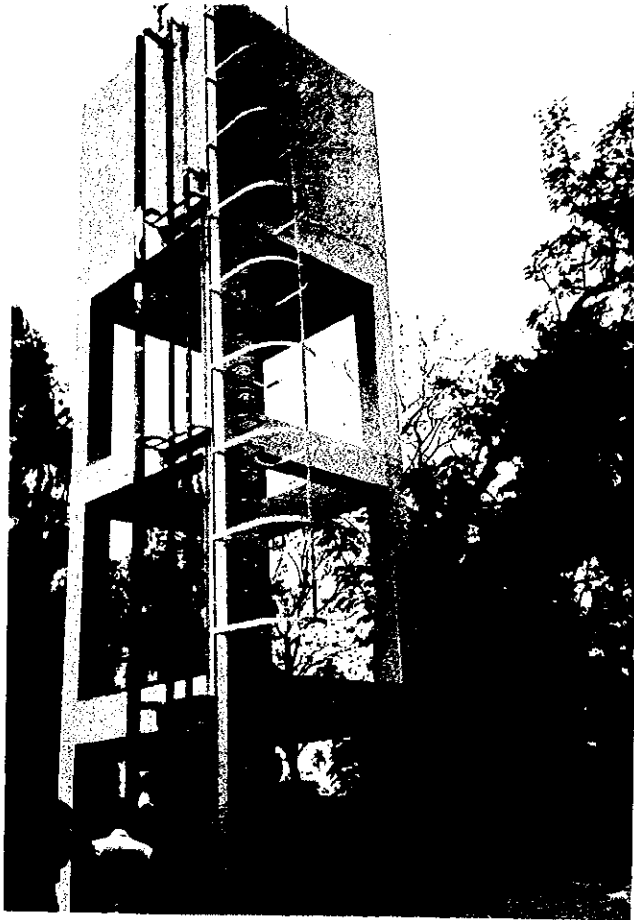


金澤隊員（12/2・バレーボール）隊員の活動風景

伯耆田隊員（12/1・柔道）の活動の様子

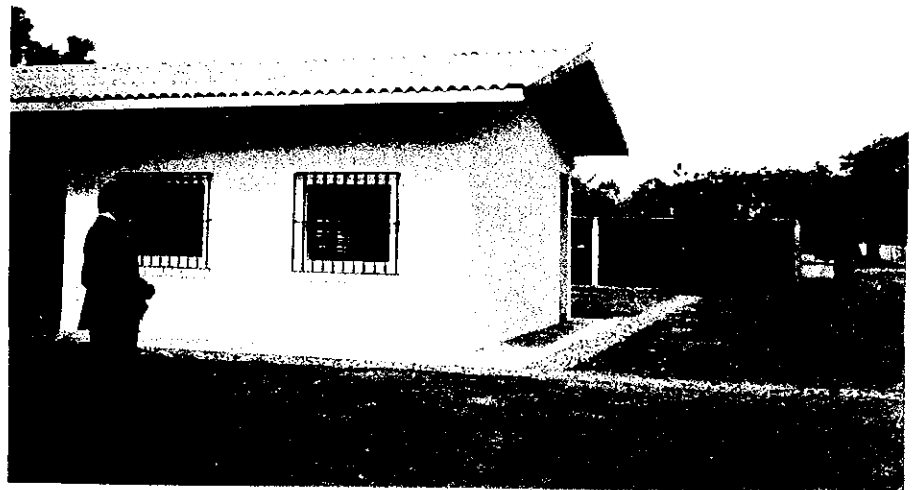


地方苗畑（ナグバングレ）における完工式（象牙三条職員）



地方苗畑に建設された
給水塔

研修所と苗畑の様子





無償資金協力によって供与された苗畑作業用の道具

住民への啓発活動に使用する機材



語学訓練の様子



福井 CC による異文化コミュニケーション講座の様子



週1回ミーティングの様子

ブルキナ・ファソ国青年海外協力隊派遣現況

1. 【派遣取極】 平成10年10月 6日 (1998年)
2. 【派遣開始】 平成12年 4月 3日 (2000年)、平成11年度3次隊より
3. 【派遣実績】 11名 (男性8名、女性3名)、シニア0名
4. 【派遣中隊員数】 10名 (男性7名、女性3名)、シニア0名
5. ブルキナ・ファソ調整員事務所
【調整員】 福井 慶則 (派遣期間：平成11年9月～平成13年9月)
平野 友洋 (派遣期間：平成13年3月～平成13年6月)
6. 連絡先 事務所住所 JOCV Immeuble CGP, 7ème étage
Avenue de la Résistance du 17 Mai
Ouagadougou, BURKINA FASO
(郵便物送付先) JOCV
01 BP1484 Ouagadougou 01, BURKINA FASO
電話：(226) 33-07-66, 33-07-67 ファックス：(226) 33-07-65

ブルキナ・ファソ国専門家及び隊員配置図

ブルキナ・ファソ調整員事務所

【調整員】 福井 慶則 (派遣期間：平成11年9月～平成13年9月)

平野 友洋 (派遣期間：平成13年3月～平成13年6月)

連絡先 事務所住所 JOCV Immeuble CGP, 7ème étage
 Avenue de la Résistance du 17 Mai
 Ouagadougou, BURKINA FASO
 (郵便物送付先) JOCV
 01 BP1484 Ouagadougou 01, BURKINA FASO
 電話：(226) 33-07-66, 33-07-67 ファックス：(226) 33-07-65



隊員情報についてはブルキナ・ファソ国青年海外協力隊派遣現況参照

専門家配置状況

環境・水畜	保久 丈太郎	2002.3迄	A
-------	--------	---------	---

7. 隊員配属先

社会活動・国民連帯省

ストリートチルドレンセンター	ソーシャルワーカー	2名	日向野 佳世	11-3	①
			明石 和宏	12-3	②
幼稚園局	幼稚園教諭	1名	友井 直子	12-1	③

青年スポーツ省

国立青年体育スポーツ学院	バレーボール	1名	金澤 朋宏	11-3	④
	柔道	1名	伯耆田 文彦	12-1	⑤
視聴覚局	視聴覚教育	1名	岡野 貴誠	12-1	⑥

環境・水省

村有林・森林整備局	植林	1名	河合 庸展	12-3	⑦
-----------	----	----	-------	------	---

動物資源省

動物資源局	家畜飼育	1名	水野 千絵	12-8	⑧
-------	------	----	-------	------	---

雇用・労働・社会保障省

職業訓練局	溶接	1名	小林 道明	12-3	⑨
-------	----	----	-------	------	---

厚生省

バンフォラ県立病院	臨床検査技師	1名	山中 勝一郎	12-8	⑩
-----------	--------	----	--------	------	---

8. 派遣計画

実績人数				確保数(要請数)		
11年度	12年度			13年度		
3次隊	1次隊	8次隊	3次隊	1次隊	2次隊	3次隊
3	3	2	3	8	3	(5)

9. 分野別隊員数

部門	実績		派遣予定		要請中		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
農林水産	2	18.2%	11	100%	1	20.0%	14	51.9%
加工	1	9.1%					1	3.7%
保守・操作	1	9.1%			1	20.0%	2	7.4%
土木・建築	0							
保健・衛生	3	27.3%					3	11.1%
教育・スポーツ	4	36.4%			3	60.0%	7	25.9%
合計	11	100%	11	100%	5	100%	27	100%

第1章 調査概要

1-1 調査団派遣の経緯と目的

ブルキナファソ国への初代隊員の派遣から1年が経ち、現在は5名が活動中、5名が語学訓練中である。13年度には既に11名の派遣が決定されており、年度末までには20名を越える隊員の派遣が予想されるため、以下の5点につき調査を実施するため、当調査団が派遣された。

- (1) 隊員が派遣される都市の状況を視察し、あらかじめ考え得る問題点等を抽出した上で解決策や予防策を講じ、隊員の受入れ先についてはより詳細に協力隊の活動と理念についての説明を行う。
- (2) 13年度1次隊から、ブルキナファソ国北部で日本の無償資金協力により整備された苗畑において専門家をリーダーとした隊員によるグループ派遣が開始される予定であり、現地の苗畑の状況視察と今後のグループ活動計画について専門家と打ち合わせの上、詳細について吟味を行う。また、それに基づきPDMを作成する。
- (3) 派遣後半年から1年を経ている隊員に対しては、活動実施状況を視察し、問題点の抽出を行った上で、今後の隊員支援方針並びに派遣計画の策定に反映させる。
- (4) ブルキナファソ事務所は調整員事務所として機能しているが、その業務は膨大であり、6月上旬には事務所支援のシニア隊員が派遣される予定である。それについて、現場の状況を調査し、シニアの業務内容を確認の上、的確な人材を派遣する。
- (5) 本年3月に帰国した環境教育の専門家により提案されたモデル学校への環境教育分野での隊員派遣の可能性を検討する。

1-2 調査団の構成

派遣計画 宮原 千絵（青年海外協力隊事務局海外第二課ブルキナ・ファソ国担当）

1-3 調査項目

- (1) ブルキナファソ調整員事務所における隊員活動に対する評価と、今後の取り組み
- (2) 隊員配属先（語学訓練校を含む）における隊員の活動に対する取り組みと隊員の受入体制
- (3) 隊員のこれまでの活動に対する自己評価、問題点とその解決方法、具体的改善策
- (4) 日本の無償資金協力で整備された苗畑の現状と将来の協力隊活動の展望
- (5) ブルキナファソ調整員事務所の業務態勢と必要な支援
- (6) 環境教育分野における要請背景調査

1-4 調査方法

上記「2」の調査項目について下記の通り調査項目詳細を作成し、それぞれにつき、インタビュー、アンケート調査、視察、隊員報告書の確認を行った。隊員へのアンケートについては、事前に配布・回答、グループ派遣に関する資料についても事前に専門家へ回答依頼をし、現場において直接協議を行った。

また、調査項目とは別に、事務局方針説明として、現職参加制度の説明と協力要請及び緊急連絡網の機能確認を調整員との協議という形で実施した。

調査項目詳細

調査対象	調査項目	調査方法
JOCV調整員事務所	隊員活動に対する評価と、今後の取り組み	インタビュー
	事務所運営に係る問題点と改善点	
	シニア隊員のTOR	
隊員配属先	配属先の概要	質問票に則したインタビュー
	隊員の活動に対する取り組み	
	隊員への執務スペース	
	隊員住居	
	隊員活動に関する問題点と改善案	
語学訓練校	隊員の訓練に対する取り組みと評価	インタビュー
	問題点と改善案	視察
	語学訓練内容	
隊員	隊員活動への自己評価	アンケート（事前配布・回答）及び個別インタビュー、隊員報告書、事務所コメント
	現地訓練への取り組みと評価	
	活動における問題点と改善案	
	生活・環境・健康について	
	任地での隊員活動の将来展望	
専門家及び環境・水省	グループ派遣による支援計画	PDMの作成
		質問票に則したインタビュー
		専門家へのアンケート
		苗畑視察
基礎教育・識字省	環境教育における派遣の可能性検討	インタビュー
事務局方針説明	現職参加派遣に関する協力要請	事務所打ち合わせ
	緊急連絡網の機能チェック確認	

1-5 調査日程

日程	行 程
4/16 月	16:20 ワガドゥグ着 ホテルにて日程打ち合わせ
4/17 火	◎無償資金協力セレモニー出席（グループ派遣との関連事業） 08:45-12:30 無償資金協力「地方苗畑改修計画」完工式出席 ナグバングレ苗畑視察（グループ派遣、13/1 平嶋隊員配属予定） 15:00-18:00 カヤ苗畑視察（12/3 河合隊員配属予定）
4/18 水	◎外務省表敬訪問と隊員活動視察 08:00-09:00 視聴覚局：岡野隊員（12/1、視聴覚教育） 09:00-10:00 Samande 幼稚園：友井隊員（12/1、幼稚園教諭） 10:00-10:30 外務省表敬訪問 10:30-12:00 外務省、経済大蔵省住宅局と協議 15:00-16:00 AEMO：日向野隊員（11/3、ソーシャルワーカー）
4/19 木	◎隊員活動視察 07:30-08:30 国立青年スポーツ学院：金澤隊員（11/3、バレーボール） 08:30-09:30 国立青年スポーツ学院：伯耆田隊員（12/1、柔道） 9:30-10:00 国立青年スポーツ学院長表敬 10:30-12:00 書類整理 13:30-14:30 事務所にて隊員活動その他に関する協議 ◎グループ派遣にかかる協議 15:00 DEFVAF（村有林・森林整備局）、植林専門家とグループ派遣について打ち合わせ 19:00 報告会
4/20 金	◎語学訓練視察 08:00 ワガドゥグ発（国内線利用） 08:45 ボボ・デュラッソ着（語学訓練先車両利用予定） 10:00-12:00 語学訓練視察 14:30-15:30 語学訓練先機関との協議 15:30-16:30 クロスカルチャー講義（福井 CC） 16:30 AEMO 活動視察（12/3 明石隊員配属先）
4/21 土	◎語学訓練視察 08:00-09:00 CREN（栄養不良児センター）視察（隊員配属協議中） 09:00-11:00 隊員及び語学訓練機関と打ち合わせ 14:50 ボボ・デュラッソ発（国内線利用） 17:40 ワガドゥグ着

4/22 日	08:00-10:30 ズィニアレ（水野隊員配属先）隊員住居視察 資料整理 16:00-17:00 隊員連絡所候補施設視察
4/23 月	◎隊員派遣にかかる調査等 AM 10:00-11:00 初等教育識字教育省ブルキナ教育学研究所環境教育局 PM 事務所にて最終打ち合わせ 20:45 AF730 ワガドゥグ発

1-6 面会者リスト

所属	職位	氏名
外務省	アジア・大洋州・カリブ局局長 アジア課長	M. GANDA Moise Zare M. TOURE Amidou
経済・大蔵省	住宅局長	Mme. YERBANGA Germaine
基礎教育・識字省	教育総局長 環境教育課長	M. DAO Baye M. OUEDRAOGO Amos
青年スポーツ省	青年スポーツ学院長 青年スポーツ学院プログラム局長 視聴覚局局長 青年スポーツ学院視聴覚コース教諭 青年スポーツ学院バレーボール理論教諭 青年スポーツ学院柔道理論の教授	M. BAADHIO Ousseini Mme. SOULAMA Helene M. NIKIEMA Joachim M. LANKOUANDE Mayombo M. GNANOU Lassina M. YONI Mamadou
社会活動国民連帯省	サマンデ幼稚園長 ストリートチルドレンセンター長	Mm M. OUEDRAOGO Abdoulaye Minougou Marie Therese
語学訓練機関 (TRADE)	代表 プログラムコーディネーター 研修コーディネータ兼語学講師 語学講師 語学講師	BOLY Aliou BOLY Nanette Alvey ZONGO Jean DRABO Azara DIALLO Alscini
JICA事務所	調整員	福井 慶則 平野 友洋
	隊員	金澤 朋宏 日向野 佳世 岡野 貴誠 伯耆田 文彦 友井 直子

第2章 巡回指導調査の総括と提言

2-1 総括

隊員活動については、全隊員に共通するような改善すべき大きな問題点はない。前任者が全くいないため個々の活動については悩みも多いようであるが、事務所の指導もあって、それぞれ自分なりの活動を築き上げているところである。生活面については、ブルキナ・ファソ国は世界でも最貧国の一つとして位置づけられてはいるものの、必要な物資及び野菜を含む食品は手に入りやすく、これについても大きな問題は見られなかった。住居は、担当である経済・大蔵省住宅局の対応が必ずしも派遣取り極めで決められた事項を守っておらず、現在活動中の5名の首都隊員については、1名以外は2名ずつの同居となっており、時に隊員のストレスになっている。

語学研修については、その効果は現在活動中の隊員のほとんどが「非常に効果的であった」と判断していることから、適当な研修内容・期間であると判断できる。語学訓練先であるボボ・デュラツはワガドゥグから車で5時間ほどの距離があるが、気候も首都ワガドゥグより過ごしやすく、治安の面から言っても隊員が現地に溶け込みやすい環境にある。語学教師の隊員の訓練に対する取り組みも前向きである。

また、12年度3次隊派遣隊員から、JICA 無償資金協力で改修された地方苗畑でのグループ派遣が始まることに関しグループリーダーともなる専門家と協議したところ、隊員が配属される予定の5カ所の地方苗畑については改修工事が予定通り終了し、地方苗畑改修計画で作成されたPDMとアクションプランを基に隊員が活動することを確認した。2001年度についてはブルキナ・ファソ国政府も1億セーファーフラン（約1,700万円）の予算をつけることを決定しており、隊員の活動に必要な経費についても予算内での対応が可能であることを確認した。

4月に帰国した環境教育専門家の提案に基づいて、初等教育・識字省の環境教育プログラムにおける隊員派遣の可能性を探ったが、今回は、基本的な隊員活動に対する説明と、要請から派遣までの流れ、及び考えられる派遣隊員の職種等についての説明を行うにとどめた。

事務所業務については、大使館のない国での調整員事務所であることから、ブルキナ・ファソ国滞在中の日本人の安全対策、日本のODA政策全般に関する問い合わせなどへの対応を一人で行うため業務量は膨大である。本部からの調査団派遣の際には、十分前広に連絡し、派遣時期の調整を行う必要がある。

総じて、ブルキナ・ファソ国における協力隊活動は順調に推移してきており、生活状況、治安、受け入れ態勢、首都と地方の距離など総合的に判断して、隊員派遣に適した国と考える。今後2、3年を目処に50名ほどの隊員派遣が可能であろう。

2-2 提言

上記調査結果総括を踏まえ下記を提言する。

- (1) 地方隊員へのバイク貸与が8月頃から始まるため、交通安全巡回指導調査団を13

年度秋（11月頃）に派遣し、バイクの管理、安全な操作方法等について、専門家から隊員に直接指導を行う。また、自転車・単車の管理簿を作成し、これらの使用状況を管理するとともに、四半期報告書を事務局に遅滞なく提出する。

- (2) 現在派遣中の隊員は、派遣前のブルキナ・ファソに関する情報について、少なかったが特段問題はなかったと述べている。しかしながら、訓練生はできる限りの任国情報を得たいと考えているため、今後は受入希望調査票にできるだけ写真やその他の情報（配属先の組織図など）を添付する。
- (3) 首都における隊員住居の確保と地方隊員の住居及び家具の確保について、大蔵省住宅局と確認体制を確立する。
- (4) 地方展開を鑑み、地方隊員の住居に遅滞なく無線を設置する。
- (5) 1人事務所であることを鑑み、後任調整員の派遣に際しては1ヶ月程の重複期間を置く。
- (6) 基礎教育・識字省については、後任専門家の派遣を待って要請背景調査を実施する。
- (7) 地方苗畑改修計画グループ派遣については、当初は既に存在するPDMの計画に沿って活動するが、隊員派遣後、現地の情勢、特に、住民による植林という社会林業の観点から見た活動計画を、必要に応じ作成する。

第3章 巡回指導調査結果

3-1 ブルキナファソ調整員事務所における隊員活動に対する評価と、今後の取り組みについて

隊員活動そのものについて大きな問題はない。隊員からの報告書や今回実施したアンケートからはフランス語の語学力について問題があるように見受けられるが、これは他のフランス語圏隊員も苦勞している点であり、特に現地語学訓練等の質が悪いためとは考えない。また、必要に応じて調整員が語学指導も行っている（フランス語レポートの添削等）。語学については自己努力が差をつける部分が多いため、活動を通じたOJTやフランス語での日記を付ける等で語学力を常に向上させるよう事務所が指導している。

活動そのものに関しては、個別問題は存在するものの、週1回調整員が隊員との会議を持つことにより、あらゆる問題点について迅速に対応できる体制を整えている。地方隊員に関しても週1回電話連絡をし、状況確認を行っている。現在は各隊員とも活動が軌道にのってきているところであり、配属先も隊員の活動を真摯に受け止めている。配属先は当初隊員に対してやや過剰とも思える期待があったが、個々の隊員や調整員が「青年海外協力隊」の活動や目的について個々に配属先やカウンターパートに説明することにより、現時点では配属先の隊員活動に対する理解は深まってきているようである。支援経費についてはこれまで1名が申請し、これを承認している。

今後の派遣計画については、地域的・職種のなまとまりを持ったグループ派遣を増やしていく予定である。要請開拓については、まず住宅の確保を前提とし、隊員が支障なく活動できる程度の予算が確保され、隊員の活動についての理解と支援が得られやすい配属先を中心に行っている。住宅の問題が解決すれば、首都隊員も増やしていく予定である。今後2年間で50名ほどの隊員派遣を予想している。また、今後は地方隊員へのバイクの貸与が増えるため、交通安全巡回指導を派遣する必要がある。

地方隊員の増加に伴い、隊員連絡所及び無線の設置も随時行っていく必要がある。事務所は隊員の健康管理には特に力を入れているが、MCが派遣されていないため、象牙事務所もしくはニジュール駐在員事務所配属MCの四半期毎の巡回指導が可能か確認する。平成12年度の傷病数に関しては、マラリア1件、消化器系疾患6件、歯科治療2件、擦傷などの怪我4件、その他3件の計16件であり、件数としては少ない。

3-2 隊員配属先（語学訓練校を含む）における隊員の活動に対する取り組みと隊員の受入体制について

隊員の配属先は総じて隊員活動を真摯に受け止め、必要なサポートを与えている。全ての配属先に共通する問題点は、機材などの予算が少ないため隊員がその能力を十二分に発揮できる環境が整っていないことであるが、隊員は支援経費をほとんど申請しておらず、あるもの、与えられた環境の中で十分適応して活動していると言える。教室型の隊員には執務スペースも必要に応じて与えられている。

隊員住居については、当初経済・大蔵省住宅局が隊員のために確保していた物件を住宅局長が異動した際に解約してしまったため、特に初代隊員はそれまで住んでいた住宅から追い出されたり、6ヶ月もの長期に渡ってホテル住まいを余儀なくされるような事態が発生した。これについては、先方隊員受入窓口である外務協力省及び在象牙日本大使館も対応し一応の解決を見たが、大蔵省住宅局の対応は現在も必ずしも誠実なものとは受け取れない。実際首都に派遣中の5名の内1名を除き2名ずつアパートに同居している状況である。これが、隊員のストレスになっているケースもあり、住宅局の更なる対応の改善を要求しているところである。今後、その対応について注視し、必要な対策を立てる必要がある。特に今後地方へ派遣される隊員が増加する際に、遅滞なく家具などが配給されるシステムを確立する必要がある。

語学訓練については、現在訓練中の隊員も含めこれまで3つのグループが現地語学訓練を受けている。訓練先は、隊員は総じてオープンで積極的、授業態度もまじめで異文化に対する適応力も高いとの印象を受けている。これまでの訓練生を対象としたアンケートやインタビュー結果に基づいてコース内容を改善してきており、現在のグループ(12/8及び12/3)では会話力などの「コミュニケーション」力の向上に力を入れている。また、隊員の職種毎にプログラムを用意し、隊員が職場にとけ込みやすい環境を準備する配慮をしている。今隊次からは現地語の訓練も入るので、訓練中や訓練終了後のアンケート結果を見て改善すべき点をフォローする必要がある。また、駒ヶ根での訓練中からできるだけブルキナ・ファソ国の情報を隊員に渡すなど、より積極的に訓練に関わっていきたいという希望がある。今年度中に語学訓練講師を日本へ派遣し、駒ヶ根での訓練状況を視察する可能性がある。その他以下が訓練先からの提案と、調査団からの回答である。

訓練先からの要望	調査団回答・及びフォローアップ事項
現地語学訓練の長期化(現在の4週間から6週間くらいに)	現行期間で特に問題は感じられない。
現地語学訓練開始前に配属先に1週間ほど滞在する。水野・山中両隊員は振替派遣によって派遣時期が通常と異なる為、現地語学訓練前に赴任先に滞在した。これが、両隊員の語学訓練に対する取り組みに効果的に働いていることから、他隊員に関しても同様にしてはどうか。	隊員の配属が2回になるため、作業的に困難である。
職場の組織図などをフランス語で書いたものを日本での訓練中に渡すことにより、隊員が準備するよう出来る。	東京に送付された資料に関して訓練生に配布することは可能だが、訓練中は語学訓練で頭が一杯の候補生が多く、必要性に関しては必ずしも高いと考えない。
訓練所でのフランス語をアフリカ方言を取り入れたものにする。	駒ヶ根訓練所の語学講師にはマダガスカル人もおり、また、契約の関係もあり、提言はできるが対応は難しいと考える。
駒ヶ根のフランス語の先生との連絡を密にする。	昨年7月に同国を訪問した語学講師のレポートを送付する。
駒ヶ根からのレポートをフランス語もしくは英語にする	駒ヶ根訓練所に依頼する

3-3 隊員のこれまでの活動に対する自己評価、問題点とその解決方法について

個別に活動上の問題点はあるが、全隊員に共通した特に大きな問題点はない。アンケート結果によると、隊員自身の派遣前訓練や現地語学訓練についても概ね評価が高く、活動を通じた自分自身の成長も少なからず感じている。生活・環境・健康についても特に問題はない。健康・安全面での事務所によるフォローも十分であり、各隊員の住居には蚊帳、網戸、3つ以上の鍵、水フィルターが設置されている。治安も比較的良く、野菜を含めた食料品が豊富なため、隊員のほとんどが自炊を楽しんでいる。

以下に報告書と配属先におけるインタビュー、調整員のコメントを基に、それぞれ隊員のこれまでの活動内容と、問題点・改善案、また、調査団派遣に先立って実施されたアンケートの分析結果をまとめる。

3-3-1 隊員のこれまでの活動と問題点と解決方法について

(1) 青年スポーツ省・国立青年スポーツ学院

青年スポーツ省・国立青年スポーツ学院には、金澤隊員（11/3・バレーボール）、岡野隊員（12/1・視聴覚教育）、伯耆田隊員（12/1・柔道）が配属されている。配属先は、首都ワガドゥグに位置し、ブルキナ・ファソ国中でスポーツや青少年活動を教える教諭の育成をおこなっている。コースにはまだ教授経験のない生徒を対象とした MA コースと、MA コース終了後学校で7～8年ほど勤務した後に教授資格を取得するために再入学する生徒のための PA コースがある。また、青年の家で教える教官も育成している。教育期間は MA コース、PA コース共に3年間である。学院にはスポーツを教える教諭が20人、スポーツ以外の青少年活動などを教える教諭が7人、管理・運営の職員が11人配属されている。この中には青年スポーツ本省庁から出向している人もいる。その他に非常勤の先生が16人いる（学校の詳細については別添資料5・別添17ページ参照）。

金澤隊員（11/3・バレーボール）は、青年スポーツ学院のバレーボール実技担当教師として活動している。バレーボール理論を教える教授がカウンターパートとなっており、少しずつでも隊員の提案する練習方法などを取り入れる等、活動上大きな問題はない。配属先以外にも地方バレーボールリーグへの参加、バレー人口を広げるための青少年リーグの発足の準備を行っている。目標達成度も7割以上と自分で判断している。配属先も隊員自身も後任の派遣を希望しており、継続した派遣が望ましい。

岡野隊員（12/1・視聴覚教育）は、着任当初、隊員要請の背景、理由、活動内容について配属先やカウンターパートがよく理解していない状況があった。それは、当初予定されていた活動現場である青年の家の管理・運営が青年スポーツ省から地方自治体に移行してしまったことによると考えられる。また、スポーツイベントなどの記録といったスポット的な活動が多いため、日常業務がなかった。そのため、現在はパソコン教室の開催、省庁内での技術指導、これまで撮影されたビデオの整理（ビデオライブラリーの開設）等を行っている。また、ブルキナ・ファソ派遣隊員のホームページを管理・運営している。

伯耆田隊員（12/1・柔道）は、青年体育スポーツ学院で柔道の実技を教えている

他、柔道連盟下のクラブチームの活動にも積極的に参加している。ブルキナ・ファソ国で柔道は人気スポーツであり、また、カウンターパートが熱心であるため活動上に大きな問題はない。柔道を教える上に於いては日本語が通じるため語学が大きな問題とはなっていないが、細かい部分については十分に生徒やカウンターパートの理解を得ていない部分があり、フランス語はまだまだ努力の必要がある。

(2) 社会活動国民連帯省・ストリートチルドレンセンター

社会活動国民連帯省・ストリートチルドレンセンターには日向野隊員（11/3・ソーシャルワーカー）が配属されている。同センターは首都ワガドゥグに位置し、支部が第2の都市ボボ・デュラッソにある（12/3で明石隊員が配属予定）。同センターでは、ストリートチルドレンに①社会・経済・家族の関係において子どものリハビリ②ストリートチルドレンの数の減少、③家族に戻すための公衆衛生などの教育とコミュニケーション技術の指導、④木工・染色・手工芸などの技術指導、⑤識字教育、等を行っている。また、遠足などを通じての集団行動と信頼関係の構築を行っている。UNICEF、CIDA 等、他国の援助もある。主任1名、常勤職員6名（社会教育5名、特別教育1名）、心理学者1名、技術指導の職員3名がセンターでの活動に参加している。

日向野隊員（11/3・ソーシャルワーカー）は、対象とする子供が年のあまり変わらない少年であること、一緒に行動するカウンターパートがいないこと、他の職員はセンターでなく市内を巡回する活動が主であるためバイクを貸与されていない隊員は同行することが難しいことなどの問題があった。しかし、事務所の指導もあって現在はセンター内で自分が始めたプログラム（識字教育、ジムナスティック等）を実施し、また、配属先を通してストリートチルドレンを対象に活動を行っている NGO の見学を行っている。市内の巡回についてもミーティングポイントを設定することにより同行できる体制をつくり、また、自身の活動をよく知ってもらうために四半期毎にフランス語によるレポートを上司に提出している。後任の派遣は要請されているが、対象が少年であり、年齢も比較的高いことから男性隊員の派遣が望ましい。配属6ヶ月後に住宅局が家賃を支払わないため住居を追い出されるトラブルがあったが、現在は別の政府提供アパートに他隊員と同居している。

(3) 社会活動国民連帯省・サマンデ幼稚園及び幼稚園局

社会活動国民連帯省・サマンデ幼稚園には友井隊員（12/1・幼稚園教諭）が配属されている。幼稚園はワガドゥグに位置し、3学年（3歳児、4歳児、5～6歳児）4クラスある。幼稚園の運営費は子供からの月謝（37,000CFA/年）でまかなっている。教諭2名分の給料は省庁から支給されているが、他の教諭には運営費から捻出している。遊具などはイタリアからの援助で購入され、現在も良好な状態に保たれている。

友井隊員（12/1・幼稚園教諭）は、当初省庁において幼稚園教育プログラムの策定に対する助言、管轄幼稚園の巡回指導を予定していたが、語学の問題や幼稚園教育の現状を知らずにこのような活動を行うには問題があると判断したため、今まではサマンデ幼

稚園での1教諭として活動をしてきた。今年度からは幼稚園局での活動も開始する。日本の幼児教育に比べブルキナ方式がスパルタであることにとまどいがあり、また、新しい方法（遊具づくり、音楽の時間など）を導入することに現場教諭は乗り気ではなかったが、それらのプログラムも徐々に受け入れられてきており、活動の成果が見え始めてきているところである。ただ、現場の教諭が積極的に取り入れようとする段階までは来ておらず、今後の活動の課題である。

3-3-2 アンケート結果（評価5項目に基づく）

隊員へのアンケートについては、平成12年度に中進国（事例としてマレーシア）における協力隊派遣の実績評価を行った際に帰国隊員に実施されたアンケートを、活動中隊員向け内容に変更し実施した。これは、同アンケートが評価5項目に基づいたアンケートであり、今調査団での実施も含め、今後同様の巡回指導を行った際に使用できる雛形アンケートを作成する目的もあった。

今調査団に関しては、現在派遣中隊員10名の内、活動期間が半年以上の11年度3次隊及び12年度1次隊の5名について実施した。アンケート集計結果（別添13・別添75ページ参照）により導き出された結果は以下の通り。

（1）配属先について

この項目に関しては配属先の概要について質問した。現在既に着任している隊員5名の内3名が青年スポーツ省国立青年スポーツ学院配属である。5名の内、派遣されている職種と同じ分野で勤務した経験のない者が3名と考えると、同じ任地で住居も近い現在の環境は、先輩隊員のいない状況では相互扶助の意識からも適当であったと考える。また、全員が勤務先における指導や、同僚との共同活動を行う等、活動形態も類似していることから、他隊員のアプローチ方法や経験が共有されやすい環境にあった。

（2）目標達成度

目標達成度に関しては、受入希望調査票で要請された内容に対し現在どの程度まで達成されているか、また、カウンターパートの技術の向上について質問した。同時にそれぞれの質問について促進、阻害要因を確認した。

赴任後1年以下の隊員ばかりであるので、現時点での目標達成度は必ずしも高くない。隊員によっては指導するはずであった機材が購入されなかったり、要請の内容が高度すぎたため活動内容を変更せざるを得なかった隊員もいるが、それぞれが創意工夫をこらした活動の成果が見え始めてきたところである。特に、初代隊員は自分が派遣されたもしくは要請された理由が分からず悩むこともあったようだが、現在は自分ができることを確立し、配属先やカウンターパートもそれに関しては高く評価していることが分かってきつつあり、手応えを感じてきているようである。

目標を達成するにあたっての阻害要因として、配属先が隊員派遣について理解していなかった等のコメントもあるが、事務所は隊員派遣前、少なくとも2ヶ月に1度は配属先の

状況を調査し、派遣される隊員についてもブリーフィングを行っているため、隊員カウンターパートにそれら情報が伝わっていない等の状況が考えられる。今後は、配属先上司だけでなくカウンターパートにも積極的に隊員の情報を伝える必要がある。

また、目標達成の促進要因として、普段のコミュニケーションの大切さをあげている隊員が多い。これは、逆に言語能力が低いと阻害要因となるため、今後も隊員の積極的な取り組みが期待される部分である。仕事の上だけでなく、仕事を離れた部分でのコミュニケーションを取ることで、仕事上の理解が深まった隊員もあり、こういったアプローチが、問題解決の大切な切り口となるであろう。

カウンターパートの能力の向上については全隊員が初代隊員であり派遣後間もないため大きな変化は見られない。また、カウンターパートもそれぞれの分野では高い知識と広い経験を持っているため、たやすくは隊員の新しい技術を試すことはないようである。ただ、徐々にではあるが、現地の方法に沿った部分に関しては取り入れている部分もあり、今後に期待できる。

(3) 計画の妥当性

妥当性については、特に初代隊員であったため、隊員に対するニーズの高さ、配属先の隊員活動に関する理解度、自分の職種及び技術レベルと配属先で要求されている職務内容とレベルの妥当性、派遣の時期、後任派遣の是非を確認した。

配属先では、当初、隊員活動そのものに関する理解や考え方の違いがあったようである。しかしながら、現在の隊員の活動は配属先では高く評価されてきており、その意味で、隊員のニーズは高かったと考えられる。その他、隊員の技術レベルと現場で必要とされているレベルや技術の種類等についてはほとんど問題なく、要請背景調査と隊員受入れ準備はほぼ問題なく実施された。隊員の派遣時期に関しては特にコメントはなかったが、やはり学校配属隊員に関しては1次隊での派遣が最適であったとの回答があった。それぞれの後任に関してははっきりとその必要性を感じている隊員もいる一方、今後の展開を注視しつつ決定する隊員もいるが、現時点で後任の必要性を全く感じないといった意見が無く、そういった意味でも、隊員の配属先に大きな問題点はなかったと考える。

(4) 効率性

効率性については、カウンターパートへの技術移転及び派遣前・後訓練の効率性という点で質問した。

隊員のカウンターパートへの技術移転という観点から見れば、隊員のカウンターパートの資質に大きな問題はないようである。カウンターパートの知識レベルや経験は一定以上のものであり、隊員のアプローチ方法によって、新しい技術・考え方を受け入れる余地は大きい。今後、各隊員がコミュニケーションの手段としての語学を向上させること、また、後任を派遣することにより、カウンターパートへの技術移転は着実に進んでいくことであろう。

派遣前訓練及び現地語学訓練については、全員が「効果的」と答えており、そのうち過

半数が「かなり効果的」と答えていることから、特に現在の訓練内容を改善すべき問題はない。ただし、フランス語で実際の業務を行うには赴任時の語学レベルが必ずしも充分でなく、訓練期間を長期化すべきという提案もあった。これに関しては、語学は OJT の面もあり、必ずしも完璧な語学レベルで行う必要のある仕事を赴任直後から開始する必要はなく、自分の語学レベルの進展に併せた業務を実施していくような対応方法がある旨、事務所からも指導をしている。

(5) インパクト

この項目については隊員自身の技術の向上、人間的な成長に焦点を当ててアンケートを実施した。これらについては、技術・人間的な成長の両方について非常に役立っている～役立っている、また、かなり成長したと思う～わずかながら成長したと思う、という回答を得ており、専門技術、語学、国際協力への理解等において大きな前進があったことが認められる。また、この結果は、隊員自らが、前任者のいない国で、それぞれの努力と事務所からの指導により、逆境にめげず、新しい考え方や人とのつきあい方に前向きに対応してきた賜物であり、そのような潜在能力を持った隊員自身の人柄によるものと考えられる。

(6) 自立発展性

自立発展性については、隊員が帰国後、カウンターパートだけで同様の活動をできるかという点に焦点を当てた。

これについては、隊員派遣開始から1年であり、カウンターパートへの技術移転やレベルの向上といった点ではまだまだこれから、といったアンケート結果となった。今後後任隊員の派遣や、隊員カウンターパート研修等で長く取組む必要がある。それぞれのカウンターパートの能力・意識は高いので、数年後には成果が出されると考える。

(7) 協力隊活動の運営管理

この項目に関しては、カウンターパートとのコミュニケーションのレベル、住居や生活環境での問題点、支援経費についてのアンケートを行った。

カウンターパートとのコミュニケーションについては1名を除き積極的に行っている。生活環境については特に問題が無く、首都のため必要な生活用品や食料品についても問題なく手に入っている。住居については、前述のように、大蔵省住宅局の対応が必ずしも好意的とは言えないため、住居を追い出された隊員もいるが、現在は大きな問題はないようである。

(8) 総括

これまでの隊員活動の経験から今後協力隊事業においてした方がよいこと、しない方がよいことを聞いたところ、語学訓練の長期化を挙げる隊員が多かった。これについての分析は上記(4)で行っているように、必ずしもブルキナ・ファソやフランス語圏の隊員だけの問題でなく、全ての隊員が同様に苦勞しながらも克服してきた点であり、他国隊員活

動の現状を見ても、今後更に訓練期間を長期化する必要はない。

3-4 日本の無償資金協力で整備された苗畑の現状と将来の協力隊活動の展望（グループ派遣）について

この調査項目については、改修工事の完了した苗畑を2カ所を視察し、グループ派遣のリーダーとなる専門家及びそのカウンターパートとの協議を行った。

無償資金協力により実施されてきた「ブルキナ・ファソ国地方苗畑改修計画プロジェクト」は、1980年代後半に「ブ」国が各国援助機関の支援を受け建設した全国地方都市10カ所の地方局苗畑のうち6カ所（ナグバングレ、カヤ、ドリ、ワイグヤ、デドゥグ、クドゥグ）を改修し、職員の研修による技術向上、住民グループへの啓発活動、組織強化、及び苗木生産を目的として1999年に開始された。特に「ブ」国が1998年に打ち出した植林5カ年計画（1998～2002年）及びグリーンベルト構想を支援するため、それぞれの苗畑について年間約5万本の苗木生産に必要な改修及び資材供与を行っている（詳細は別添資料8, 9・別添25～33ページ参照）。調査団来ブ時には、これら6カ所の改修工事は全て完了し、「ブ」国側に引き渡されたところであった。

隊員はこれら無償資金協力にて整備された苗畑において、「地域住民に対する苗木生産技術の移転」と「地域住民のための植林システムの構築」を目標とし、植林隊員及び村落開発普及員が2名ずつ5カ所の苗畑（カヤ、ドリ、ワイグヤ、ナグバングレ、デドゥグ）に配置される。各隊員の詳細な活動内容は、赴任後、隊員と専門家及びカウンターパートと受入省庁の意見を組み入れつつ作成することとなるが、大きくは、①アクションプランの作成支援（2002年から2005年まで）、②定期的なアクションプランのモニタリングと評価の実施、③地域住民に対する研修事業の改善と強化、④植林事業の普及・促進、⑤砂漠化防止用苗木の生産、⑥各種情報の管理（育苗記録、植林記録）となる（別添資料6, 7, 10, 11別添23～43ページ参照）。また、施設を見学したところ、日本製機材が多数購入されている。これら機材の管理、及び啓蒙活動に使用するテレビ・ビデオについては隊員で有効活用し、カウンターパートにもその使用方法と管理方法を指導する必要があるだろう。

協力期間は上位プロジェクトである無償資金協力部の「地方苗畑改修計画」が終了する2005年（2～3代程度）とする。

グループ派遣のPDMに関しては、専門家及び調整員と協議した結果、既に無償資金協力部の「苗畑改修計画PDM」が存在するため、グループ派遣用に個別に作成する必要は無いとの結論に達した。ただし、今後住民苗畑における活動や、住民による植林といった社会林業の側面から活動計画の見直しが必要ないか注視し、必要あれば、更に協力隊活動に特化したPDMを作成する。

2001年4月現在、カヤの植林隊員、ドリ及びワイグヤの植林・村落開発普及員、ナグバングレの村落開発普及員が確保されている。これまで確保されなかった隊員については継続募集とすることが、事務所、専門家、配属先との間で確認された。

プロジェクトに対する予算、機材、CP、アクションプランは作成済みであり、2001年度については既に約1億FCFA（1千700万円）の予算が確保されている。

3-5 ブルキナ・ファソ調整員事務所の業務体制と必要な支援について

ブルキナ・ファソ調整員事務所では隊員活動への支援、要請開拓、事務所管理、調査団への対応、JICA 関係邦人の安全対策、我が国 ODA 業務にかかる問い合わせへの対応等、多様な業務を一人で行うため多忙である。特に調査団が重なるとその対応で業務時間の大半をとられてしまうため、調査団派遣の際は十分前広に事務所に連絡し、時期の調整を行う体制を更に徹底する必要がある。調査団の派遣予定については以前は本部から各事務所に配布されていたが現在はイントラネットを参照するような方式に変わっている。しかしながら、同事務所ではイントラネット使用申請はしているものの、未だパスワードを付与されていないため、今後総務部情報管理課に確認する必要がある。

また、1人事務所であるため、後任調整員派遣の際はできれば1ヶ月ほどの引継ぎ期間を設けることが望ましい。

事務所支援のシニア隊員に関しては、派遣される人物の得意な分野や性格を判断し詳細な業務内容を柔軟に決定する。派遣される人物については、①隊員の地方での活動をよく理解でき、②要請背景調査と事務仕事の両方を行うことが可能であり、③できれば男性、④隊員との年齢の兼ね合いから28から30歳以上、が望ましい。高い語学力は必要ない。応募者が少ない場合は、西アフリカでの経験を重視する必要はなく、社会経験そのものはなくても良い。

中・長期的には隊員数が50名前後になる可能性があるため、隊員数増加を見込んで適切な時期に調整員を増員する必要がある。

3-6 環境教育分野における要請背景調査

2001年4月に日本に帰国した環境教育専門家の提案した協力隊員派遣につき、基礎教育・識字省教育研究総局局長及び環境教育課長と協議を行った。

同専門家は配属先の基礎教育・識字省における環境教育策定の中で、衛生教育、学校植林、学校菜園を3本柱として、特にこれら活動を推進するモデル校を設置し、児童を指導する計画を提言した。

同専門家の帰国報告会にて右活動への協力隊員派遣の可能性について協議したところ、専門家が先方に協力隊の紹介をしたが、初等教育へのボランティア受入についてはためらいがあったものの、可能性としては高いとのことであった。これを受けて、調整員より青年海外協力隊員の概要について説明した上で、モデル校を巡回指導する形での派遣について協議した。今後については、後藤専門家の後任が2001年7月に着任した際に具体的に詰めることとした。

3-7 現職派遣制度と緊急連絡網について

文部科学省との協力による協力隊現職参加制度については、現在派遣中の幼稚園教諭の

後任及び要請中の「家政」については15/1次隊における現職参加での派遣が可能である。しかし、上記「家政」要請以外には13年度春募集では追加要請を挙げるのは難しい。現職参加制度による幼稚園教諭の派遣可能性については、更に検討する必要がある。また、今後同制度による現職参加隊員の要請開拓については積極的に取り組む姿勢があることを確認した。

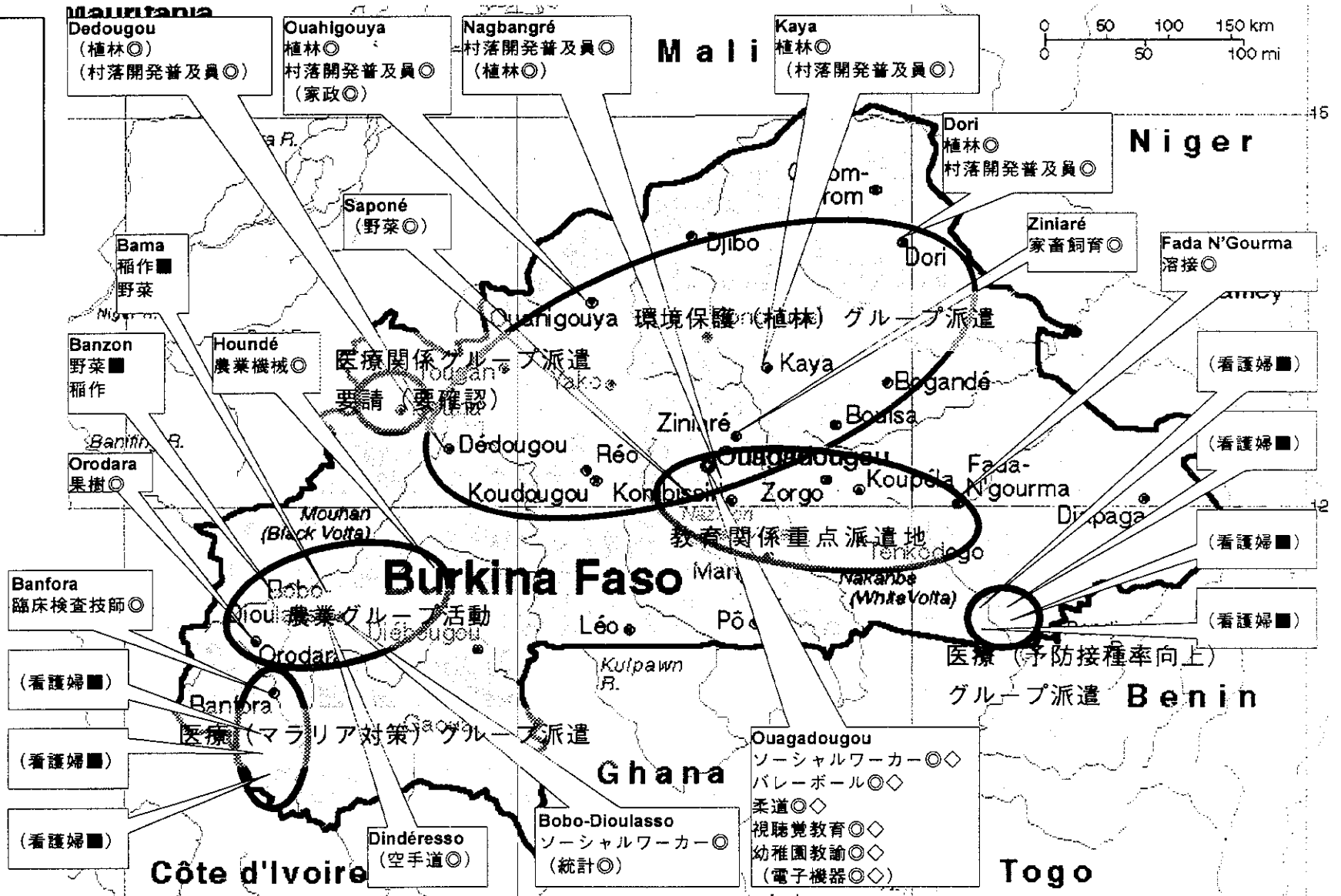
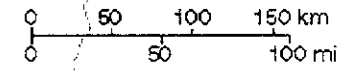
隊員間の緊急連絡網については、首都隊員だけで電話による連絡にかかった時間は45分であった。今後地方展開する上で無線を地方に設置した際にどれくらいの連絡時間がかかるか確認する必要がある。また、地方展開に伴い、遅滞なく無線が設置されるよう手配することが必要である。

別添資料

1. 平成13年度末ブルキナ・ファソ国専門家及び隊員配置図、 緊急連絡手段（予定）	-----	1
2. ブルキナ・ファソ国隊員活動バーチャート	-----	2
3. ブルキナ・ファソ大臣など一覧	-----	3
4. 語学研修プログラム（一部ドラフト）	-----	4
5. 国立青年スポーツ学院概要（フランス語）	-----	17
6. 地方苗畑改修計画グループ派遣概要	-----	23
7. 地方苗畑改修計画協力隊要請計画書（日本語意識・フランス語）	-----	24
8. 地方苗畑改修計画PDM（日本語・フランス語）	-----	25
9. 地方苗畑改修計画アクションプラン（日本語・フランス語）	-----	27
10. 関係省庁系統図	-----	34
11. ブルキナファソ行政区分と地方苗畑地図	-----	42
12. 地方苗畑改修計画2001年アクションプラン（フランス語）	-----	43
13. アンケート集計結果	-----	75
14. アンケート内容	-----	83

平成13年度（年度末）ブルキナ・ファソ国専門家及び隊員配置図、緊急連絡手段（予定）

- ◎電話
- 無線
- ◇ハンドレシーバー
- ◇はH14赴任予定



01

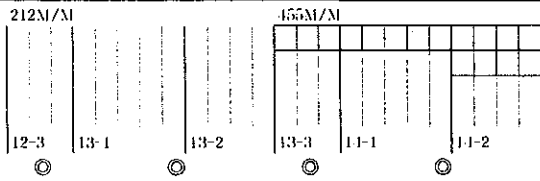
ブルキナ・ファソ国隊員活動バーチャート

氏名	隊員番号	階次	職種	県	都市	02												03			帰国日					
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		7	8	9	10	11
金澤 朗宏	00231	11-3	バレーボール	Kadiogo	Ouagadougou	■																				02.04.01
日向野 佳世	00233	11-3	ソーシャルワーカー	Kadiogo	Ouagadougou	■																				02.04.01
岡野 貴誠	00717	12-1	視覚覚教育	Kadiogo	Ouagadougou		■																			02.07.08
友井 直子	00719	12-1	幼稚園教諭	Kadiogo	Ouagadougou		■																			02.07.08
伯耆田 文彦	00718	12-1	柔道	Kadiogo	Ouagadougou		■																			02.07.08
水野 千絵		12-8	家庭保育	Ouhertenga	Ziniare																					03.03.15
山中 勝一郎		12-8	臨床検査技師	Comoe	Banfara																					03.03.15
明石 和宏		12-3	ソーシャルワーカー	Houet	Bobo-Dioulasso																					03.04.08
河合 麻展		12-3	植林	Sanmatenga	Kaya																					03.04.08
小林 道明		12-3	宿舎	Gourma	Fada N'Gourma																					03.04.08
平嶋 秀光		13-1	村落開発普及員	Kenedougou	Nagbangre																					
原田 直彦		13-1	稲作	Kenedougou	Banzon																					
津田 浩利		13-1	果樹	Kenedougou	Orodara																					
高木 奈穂		13-1	植林	Seno	Dori																					
鈴木 香菜子		13-1	村落開発普及員	Seno	Dori																					
榊 輝彦		13-1	農業機械	Tuy	Hounde																					
石田 明子		13-1	植林	Yatenga	Ouahigouya																					
西木 まゆみ		13-1	村落開発普及員	Yatenga	Ouahigouya																					
小田桐 真子		13-2	稲作	Houet	Bama																					
熊谷 雄一		13-2	野菜	Houet	Bama																					
古田 雅則		13-2	野菜	Kenedougou	Banzon																					
		13-3	統計	Houet	Bobo-Dioulasso																					
		13-3	空手道	Houet	Dinderesso																					
		13-3	植林	Kadiogo	Nagbangre																					
		13-3	電子機器	Kadiogo	Ouagadougou																					
		13-3	バレーボール	Kadiogo	Ouagadougou																					
		13-3	野菜	Kadiogo	Sapone																					
		13-3	稲作	Kenedougou	Banzon																					
		13-3	植林	Mouhoun	Dedougou																					
		13-3	村落開発普及員	Mouhoun	Dedougou																					
		13-3	村落開発普及員	Sanmatenga	Kaya																					
		13-3	家政	Yatenga	Ouahigouya																					
		14-1	マラリア対策	Comoe																						
		14-1	マラリア対策	Comoe																						
		14-1	マラリア対策	Comoe																						
		14-1	看護婦	Kossi																						
		14-1	看護婦	Kossi																						
		14-1	看護婦	Kossi																						
		14-1	村落開発普及員	Pana																						
		14-1	村落開発普及員	Pana																						
		14-1	村落開発普及員	Pana																						
		14-1	村落開発普及員	Poni																						
		14-1	家政	Poni																						
		14-1	家政	Poni																						
		14-1	家政	Poni																						

マラリア対策グループ活動
 医療関係グループ活動
 予防接種率向上グループ活動
 村落栄養改善グループ活動

13年度春募集
 13年度秋募集
 14年度春募集
 14年度秋募集
 隊員赴任時期

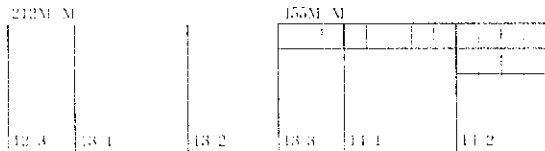
- ◎ 健康診断、隊員総会
- 任国外研修旅行
- 交代要請中
- ☆ 交代要請予定
- ※ 交代要請決定済
- × 派遣打ち切
- 任期延長期間
- 任期延長希望者
- △ 任期延長希望無



ブルキナ・ファソ国隊員活動バーチャート

氏名	隊員番号	隊次	職 位	課	都 市	02												帰国日		
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
金澤 勲彦	09231	11-3	保健士	Kadiogo	Ouagadougou	■														02.04.04
白崎野 佳世	00233	11-3	ナショナルワーカー	Kadiogo	Ouagadougou	■														02.04.01
藤野 眞理	00717	12-1	国際電教員	Kadiogo	Ouagadougou		■													02.07.08
友井 直子	00719	12-1	幼保園教諭	Kadiogo	Ouagadougou		■													02.07.08
信書田 文彦	00718	12-1	主任	Kadiogo	Ouagadougou		■													02.07.08
水野 千絵		12-8	家庭科員	Ouhetenga	Zimare															03.03.15
山中 勲一郎		12-8	衛生検査技師	Comoe	Banfora															03.03.15
明石 和宏		12-3	ナショナルワーカー	Houet	Bobo-Dioulasso															03.04.08
河合 康廣		12-3	植林	Sanmatenga	Kaya															03.04.08
小林 透明		12-3	植林	Comoe	Fada N'Gourma															03.04.08
半嶋 秀光		13-1	村落開発普及員	Kadiogo	Nagbangre															
原田 浩彦		13-1	植林	Kenedougou	Banzon															
川田 浩利		13-1	植林	Kenedougou	Orodara															
高木 泰徳		13-1	植林	Seno	Dori															
鈴木 香菜子		13-1	村落開発普及員	Seno	Dori															
林 舞彦		13-1	衛生検疫	Tuy	Hounde															
石田 明子		13-1	植林	Yatenga	Ouahigouya															
西木 まゆみ		13-1	村落開発普及員	Yatenga	Ouahigouya															
小田嶋 眞子		13-2	植林	Houet	Bama															
熊谷 雄一		13-2	野菜	Houet	Bama															
吉田 雅則		13-2	野菜	Kenedougou	Banzon															
		13-3	植林	Houet	Bobo-Dioulasso															
		13-3	電子遊	Houet	Dinderesso															
		13-3	植林	Kadiogo	Nagbangre															
		13-3	電子機器	Kadiogo	Ouagadougou															
		13-3	バレーボール	Kadiogo	Ouagadougou															
		13-3	野菜	Kadiogo	Sapone															
		13-3	植林	Kenedougou	Banzon															
		13-3	植林	Mouhoun	Dedougou															
		13-3	村落開発普及員	Mouhoun	Dedougou															
		13-3	村落開発普及員	Sanmatenga	Kaya															
		13-3	家政	Yatenga	Ouahigouya															
		14-1	マラリア対策	Comoe																
		14-1	マラリア対策	Comoe																
		14-1	マラリア対策	Comoe																
		14-1	看護婦	Kossi																
		14-1	看護婦	Kossi																
		14-1	看護婦	Kossol																
		14-1	村落開発普及員	Pana																
		14-1	村落開発普及員	Pana																
		14-1	村落開発普及員	Pana																
		14-1	村落開発普及員	Poni																
		14-1	家政	Poni																
		14-1	家政	Poni																
		14-1	家政	Poni																

13年度春募集
13年度夏募集
14年度春募集
14年度夏募集
隊員在任時期



- 健康診断、隊員総会
- 在国外研修旅行
- 交代要請中
- 交代要請予定
- 交代要請決定済
- 派遣村営
- 在国長期間
- 在国長期希望者
- 在国長期希望無

ブルキナ・ファソ大臣など一覧

Président du Faso	大統領	M. Blaise COMPAORE	
Premier Ministre, Ministre de l'Economie et des finances, Porte-parole du gouvernement	首相 (経済大蔵大臣兼任)	M. Paramanga Ernest YONLI	新
Ministre d'Etat, Ministre des Affaires étrangères	國務大臣 (外務大臣兼任)	M. Youssouf OUEDRAOGO	
Ministre d'Etat	國務大臣	M. Ram OUEGRAOGO	
Ministres	大臣		
Ministre d'Agriculture	農業大臣	M. Salif DIALLO	新
Ministre de la Santé	厚生大臣	M. Pierre Joseph Emmanuel TAPSOBA	新
Ministre de la Défense	国防大臣	M. Kouamé LOUGUE	新
Ministre de la Justice, et de la Promotion des Droits de l'Homme	法務・人権向上大臣	M. Bleima BADINI	
Ministre de la Sécurité	安全保障大臣	M. Djibrill Yipèné BASSOLE	
Ministre de l'Administration territoriale et de la Décentralisation	国土行政・地方分権化大臣	M. Bernard T. NABARE	新
Ministre de l'Environnement et de l'Eau	環境・水大臣	M. Fidèle HIEN	新 野党
Ministre du Commerce, de la Promotion de l'Entreprise et de l'Artisanat	商業・企業・手工業促進大臣	M. Bedouma Alain YODA	新
Ministre des Mines, des Carrières et de l'Energie	鉱業・採掘・エネルギー大臣	M. Abdoulaye Abdoukader CISSE	新
Ministre des Enseignements Secondaire, Supérieur et de la Recherche Scientifique	中高等教育・科学研究大臣	M. Laya SAWADOGO	新
Ministre de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation	基礎・識字教育大臣	M. Fidèle KIENTGA	新 野党
Ministre des Infrastructures, de l'Habitat et de l'Urbanisme	社会基盤・住居・都市計画大臣	M. Hippolyte LINGANI	
Ministre des Transports et du Tourisme	運輸・観光大臣	M. Salvador YAMEOGO	新 野党
Ministre de la Fonction Publique et du Développement Institutionnel	公務員・機構開発大臣	M. Jean Emile SOMDA	新 野党
Ministre de l'Emploi, du Travail et de la Sécurité Sociale	雇用・労働・社会保障大臣	M. Alain Ludovic TOU	新
Ministre des Postes et Télécommunications	郵政大臣	M. Justin Tièba THIOMBIANO	新
Ministre de l'Intégration Régionale	地域統合大臣	M. Nayabtigunu CONGO-KABORE	新
Ministre chargé des Relations avec le Parlement	国会担当大臣	M. Sanné Mohamed TOPAN	新
Ministre des Arts et de la Culture	芸術・文化大臣	M. Mahamoudou OUEDRAOGO	
Ministre de l'Information, Porte-parole du Gouvernement	政府広報大臣	M. Kilimité Théodore HIEN	新
Ministre de la Jeunesse et des Sports	青年・スポーツ大臣	M. René Emile KABORE	
Ministre de l'Action Sociale et de la Solidarité Nationale	社会活動・国民連帯大臣	M. Gilbert OUEDRAOGO	新 野党
Ministre des Ressources Animales	動物資源大臣	M. Alphonse BONOU	新 野党
Ministre de la Promotion de la Femme	女性地位向上大臣	M. Gisèle GUIGMA	
Ministres Délégués	大臣代理		
Ministre Délégué auprès du Premier Ministre, chargé des Finances et du Budget	首相代理、財務担当	M. Jean-Baptiste COMPAORE	新
Ministre Délégué auprès du Premier Ministre, chargé du Développement Economique	首相代理、経済開発担当	Mme Anne KONATE	
Ministre Délégué auprès du Ministre des Infrastructures, de l'Habitat et de l'Urbanisme, chargé de l'Administration territoriale et de la Décentralisation	社会基盤・住居・都市計画大臣代理 住居担当	M. Djejourma SANOU	新 野党
Ministre Délégué auprès du Ministère de l'Environnement et de l'Eau, chargé de l'Eau	環境・水大臣代理、水担当	M. Théodule H.DA	野党
Ministre Délégué auprès du Ministère de l'Emploi, du Travail et de la Sécurité Sociale, chargé de l'Emploi et de la Formation Professionnelle	雇用・労働・社会保障大臣代理 雇用・職業教育担当	M. Sébastien OUEDRAOGO	
Ministre Délégué auprès du Ministère des Transports et du Tourisme, chargé de la Promotion	運輸観光大臣代理、観光促進担当	M. Yacouba TOURE	野党
Secrétaire d'Etat, chargé de la Promotion des Droits de l'Homme	閣外相、人権向上担当	Mme Monique ILBOUDO	新
Secrétaire d'Etat, chargé de l'Alphabétisation et de l'Education non Formelle	閣外相、識字・非公式教育担当	Mme Jeanne SOME	新
Secrétaire d'Etat, chargé de la Jeunesse	閣外相、青年担当	M. Bassirou LY	新 野党

ブルキナ・ファソ大臣など一覧

Président du Faso	大統領	M. Blaise COMPAORE	
Premier Ministre, Ministre de l'Economie et des finances, Porte-parole du gouvernement	首相 (経済大臣兼任)	M. Paramanga Ernest YONLI	新

Ministre d'Etat, Ministre des Affaires étrangères	國務大臣 (外務大臣兼任)	M. Youssouf OUEDRAOGO	
Ministre d'Etat	國務大臣	M. Ram OUEGRAOGO	

Ministres	大臣		
Ministre d'Agriculture	農業大臣	M. Salif DIALLO	新
Ministre de la Santé	厚生大臣	M. Pierre Joseph Emmanuel TAPSOBA	新
Ministre de la Défense	国防大臣	M. Kouamé LOUGUE	新
Ministre de la Justice, et de la Promotion des Droits de l'Homme	法務・人権向上大臣	M. Bleima BADINI	
Ministre de la Sécurité	安全保障大臣	M. Djibrill Yipèné BASSOLE	
Ministre de l'Administration territoriale et de la Décentralisation	国土行政・地方分権化大臣	M. Bernard T. NABARE	新
Ministre de l'Environnement et de l'Eau	環境・水大臣	M. Fidèle HIEN	新 野党
Ministre du Commerce, de la Promotion de l'Entreprise et de l'Artisanat	商業・企業・手工業促進大臣	M. Bédouma Alain YODA	新
Ministre des Mines, des Carrières et de l'Energie	鉱業・採掘・エネルギー大臣	M. Abdoulaye Abdoukader CISSE	新
Ministre des Enseignements Secondaire, Supérieur et de la Recherche Scientifique	中高等教育・科学研究大臣	M. Laya SAWADOGO	新
Ministre de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation	基礎・識字教育大臣	M. Fidèle KIENTGA	新 野党
Ministre des Infrastructures, de l'Habitat et de l'Urbanisme	社会基盤・住居・都市計画大臣	M. Hippolyte LINGANI	
Ministre des Transports et du Tourisme	運輸・観光大臣	M. Salvador YAMEOGO	新 野党
Ministre de la Fonction Publique et du Développement Institutionnel	公務員・機構開発大臣	M. Jean Emile SOMDA	新
Ministre de l'Emploi, du Travail et de la Sécurité Sociale	雇用・労働・社会保険大臣	M. Alain Ludovic TOU	新
Ministre des Postes et Télécommunications	郵政大臣	M. Justin Tieba THIOMBIANO	新
Ministre de l'Intégration Régional	地域統合大臣	M. Nayabtigungu CONGO-KABORE	新
Ministre chargé des Relations avec le Parlement	国会担当大臣	M. Sanné Mohamed TOPAN	新
Ministre des Arts et de la Culture	芸術・文化大臣	M. Mahamoudou OUEDRAOGO	
Ministre de l'Information, Porte-parole du Gouvernement	政府広報大臣	M. Kilimité Théodore HIEN	新
Ministre de la Jeunesse et des Sports	青年・スポーツ大臣	M. René Emile KABORE	
Ministre de l'Action Sociale et de la Solidarité Nationale	社会活動・国民連帯大臣	M. Gilbert OUEDRAOGO	新 野党
Ministre des Ressources Animales	動物資源大臣	M. Alphonse BONOU	新 野党
Ministre de la Promotion de la Femme	女性地位向上大臣	M. Gisèle GUIGMA	

Ministres Délégués	大臣代理		
Ministre Délégué auprès du Premier Ministre, chargé des Finances et du Budget	首相代理、財務担当	M. Jean-Baptiste COMPAORE	新
Ministre Délégué auprès du Premier Ministre, chargé du Développement Economique	首相代理、経済開発担当	Mme Anne KONATE	
Ministre Délégué auprès du Ministre des Infrastructures, de l'Habitat et de l'Urbanisme, chargé de l'Urbanisme	社会基盤・住居・都市計画大臣代理 住居担当	M. Djejouma SANOU	新 野党
Ministre Délégué auprès du Ministère de l'Environnement et de l'Eau, chargé de l'Eau	環境・水大臣代理、水担当	M. Théodule H.DA	野党
Ministre Délégué auprès du Ministère de l'Emploi, du Travail et de la Sécurité Sociale, chargé de l'Emploi et de la Formation Professionnelle	雇用・労働・社会保険大臣代理 雇用・職業教育担当	M. Sébastien OUEDRAOGO	
Ministre Délégué auprès du Ministère des Transports et du Tourisme, chargé de la Promotion	運輸観光大臣代理、観光促進担当	M. Yacouba TOURE	野党
Secrétaire d'Etat, chargé de la Promotion des Droits de l'Homme	閣外相、人権向上担当	Mme Monique ILBOUDO	新
Secrétaire d'Etat, chargé de l'Alphabétisation et de l'Education non Formelle	閣外相、識字・非公式教育担当	Mme Jeanne SOME	新
Secrétaire d'Etat, chargé de la Jeunesse	閣外相、青年担当	M. Bassirou LY	新 野党

SEMAINE 0

JOCV AVRIL – MAI 2001

	JEUDI 12 AVRIL	VENDREDI 13 AVRIL	SAMEDI 14 AVRIL
7 : 30 – 9 : 30		<ul style="list-style-type: none"> • Détermination du niveau de langue à l'arrivée • Intervention de Mme Nanette, chargée du Programme • Orientation du programme Langue 	<ul style="list-style-type: none"> • Cs : Solliciter des services à 1 tierce personne (Le gardien, la nettoyeuse, le cuisinier)
9 : 30 – 10 : 00	Pause	Pause	Pause
10 : 00 – 12 : 00		<ul style="list-style-type: none"> • Cs : S'orienter à un endroit pour y solliciter un service : au restaurant. 	<ul style="list-style-type: none"> • Questions au Présent
12 : 00 – 14 : 45	Déjeuner – Sieste	Déjeuner – Sieste	Déjeuner – Sieste
15 : 00 – 16 : 30	<ul style="list-style-type: none"> • Brise glace • Tour du quartier ou du centre ville • Sécurité à Bobo • Dîner 	<ul style="list-style-type: none"> • Etude de texte : (Sur les aspects culturels des restaurants au Burkina Faso). • Formateurs et volontaires dînent ensemble en ville. 	

SEMAINE 1

JOCV AVRIL – MAI 2001

	LUNDI 16 AVRIL	MARDI 17 AVRIL	MERCREDI 18 AVRIL	JEUDI 19 AVRIL	VENDREDI 20 AVRIL	SAMEDI 21 AVRIL
CO	7 : 30 – 9 : 30 • Prononciation de 10 à 30 mn • Questionnement (quel, Comment, quoi, etc.)	• Prononciation de 10 à 30 mn • C ₂ : Solliciter des services à la poste, à la banque.	• Prononciation de 10 à 30 mn • C ₄ : Acheter	• Prononciation de 10 à 30 mn • C ₅ : Confectionner un habit chez le tailleur	• Prononciation de 10 à 30 mn • Révision C ₁ - C ₄ - C ₅ (Situations) Ou TPR	• Visite dans deux familles de Bobo : 1 grande famille et 1 petite famille. (Jula et Mossi).
	9 : 30 – 10 : 00	Pause	Pause	Pause	Pause	Pause
	10 : 00 – 12 : 00 • Echanges avec des jeunes de Bobo (Etudiants) dans un jardin. Thème : la ville de Bobo (vie à Bobo).	• Simulation au Site et au lieu réel.	Sortie au marché + Echanges sur les expériences vécues.	Etude de texte (thème culturel mode vestimentaire selon les saisons)	Etude de texte : La famille (les aspects culturels) • Préparation de la sortie	Echanges sur les expériences vécues
	12 : 00 – 14 : 45	Déjeuner - Sieste	Déjeuner - Sieste	Déjeuner - Sieste	Déjeuner - Sieste	Déjeuner - Sieste
	15 : 00 – 16 : 30 • Présentation des programmes techniques aux volontaires.	Listening Compréhension (cassette enregistrée d'une conversation ou d'un texte).	Jeu de société : Parlez-nous de vous.	Visite chez le tailleur + Echanges sur les expériences vécues	Rencontre de Mr. Fukui avec les volontaires	

SEMAINE 2

JOCV AVRIL – MAI 2001

	LUNDI 23 AVRIL	MARDI 24 AVRIL	MERCREDI 25 AVRIL	JEUDI 26 AVRIL	VENREDI 27 AVRIL	SAMEDI 28 AVRIL
7 : 30 – 9 : 30	<ul style="list-style-type: none"> • Prononciation de 10 à 30 mn • PUZZLE : Certains grands événements passés du Burkina. • Exposition photos : les grandes figures du Burkina. 	Visite au village de Noumoudara	<ul style="list-style-type: none"> • Prononciation de 10 à 30 mn C₇: Parler de son Etat de santé + Préparation de la séance 	<ul style="list-style-type: none"> • Prononciation de 10 à 30 mn C₈ : Saluer de façon Appropriée lors d'un événement heureux ou malheureux 	<ul style="list-style-type: none"> • Prononciation de 10 à 30 mn Révision Générale C₆ - C₇ - C₈. 	<p style="font-size: 2em; margin: 0;">SORTIE</p> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">(DARRA)</p> <p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">Rencontre avec les Animateurs.</p>
9 : 30 – 10 : 00	Pause	Pause	Pause	Pause	Pause	
10 : 00 – 12 : 00	C ₆ : Les activités Journalières d'une Famille au village + Préparation de la visite au village.	Visite au village de Noumoudara	(Guest Speaker) Le SIDA	Rencontre avec les Communautés religieuses : - 1 groupe avec les chrétiens. - 1 groupe avec les musulmans. + Echanges	Exercices variés de grammaire sur le passé + Préparation de la présentation des volontaires.	
12 : 00 – 14 : 45	Déjeuner - Sieste	Déjeuner - Sieste	Déjeuner - Sieste	Déjeuner - Sieste	Déjeuner - Sieste	
15 : 00 – 16 : 30	FILM : KIRIKOU + DISCUSSION	<ul style="list-style-type: none"> • échanges sur les expériences vécues au village. • Activité orale : Vrai ou Faux (Genre) 	Activité Orale : Priorité + Préparation de la rencontre avec les religieux	Préparation de la présentation du Japon par les volontaires	Présentation du Japon par les volontaires dans une classe de Terminale.	

06

AKASHI
KAZUHIRO

SEMAINE 3 (ASSISTANT SOCIAL)

DRAFT

J U L A

JOCV AVRIL – MAI 2001

07

	LUNDI 30 AVRIL	MARDI 1 ^{ER} MAI	MERCREDI 2 MAI	JEUDI 3 MAI	VENDREDI 4 MAI	SAMEDI 5 MAI
7 : 30 – 9 : 30	Expressions utiles en Jula	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Dialogue brouillé (R_{C1}) ▪ C₂ : Parler de sa famille 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Révision C₁ C₂ (Exercice d'Ecoute et de compréhension) 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ C₃ : Accepter ou refuser poliment une invitation. (Application) 	Cuisine Burkinabè (Faire le marché pour préparer le déjeuner).	Sortie à la cascade de Banfora
9 : 30 – 10 : 00	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	
10 : 00 – 12 : 00	C ₁ : Saluer et se présenter (Application)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Suite C₂ (Application) 	<u>Texte</u> : Mon amie Fatou (Description d'une personne).	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Mots interrogatifs ▪ Répondez aux questions 	Cuisine Burkinabè	
12 : 00 – 14 : 45	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	
15 : 00 – 16 : 30	<u>Professionnel</u> <ul style="list-style-type: none"> ▪ Organigramme de la Direction Provinciale de l'Action Sociale et de la Famille du Houet ▪ AEMO (objectifs - Activités - Partenaires). 	<u>Professionnel</u> <ul style="list-style-type: none"> ▪ AEMO (Moyens - difficultés - perspectives) 	<u>Professionnel</u> <ul style="list-style-type: none"> ▪ Visite à l'Insertion Sociale. 	<u>Professionnel</u> <ul style="list-style-type: none"> ▪ Echange sur la visite. ▪ AEMO (Actions menées en collaboration avec les Associations / ONG). 	<u>Professionnel</u> <ul style="list-style-type: none"> ▪ Visite au local AEMO pour s'entretenir avec l'Association Tié. 	
	ALSO	ALSO	Mr. KONATE Lassina	HAZARA	Mr. KONATE Lassina	

AKASHI
KAZUHIRO

SEMAINE 4 (ASSISTANT SOCIAL)

DRAFT

J U L A

JOCV AVRIL – MAI 2001

	LUNDI 7 MAI	MARDI 8 MAI	MERCREDI 9 MAI	JEUDI 10 MAI	VENDREDI 11 MAI	SAMEDI 12 MAI
7 : 30 – 9 : 30	C ₄ : Orienter quelqu'un et se faire orienter.	C ₅ : Acheter un article au marché local.	<ul style="list-style-type: none"> échange sur la sortie au marché. Picture Talk 	C ₆ : Parler de son travail de Volontaire.	<ul style="list-style-type: none"> Test de langue Evaluation 	Départ Pour Ouaga
9 : 30 – 10 : 00	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	
10 : 00 – 12 : 00	<ul style="list-style-type: none"> Application Phrases brouillées 	<ul style="list-style-type: none"> Suite de la C₅ Sortie au marché de St Etienne. 	<ul style="list-style-type: none"> Revision C₄ & C₅ (TPR) 	Fill in the blanks (dialogue à trous)	<ul style="list-style-type: none"> Adaptation une fois arrivé (e) au site. Sketch sur la vie du stage par les volontaires et le staff. 	
12 : 00 – 14 : 45	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	
15 : 00 – 16 : 30	<u>Professionnel</u> <ul style="list-style-type: none"> Langage des enfants Préparation de jeux pour les enfants de la rue. Mr. KONATE Lassina	<u>Professionnel</u> <ul style="list-style-type: none"> Rencontre avec les enfants de la rue. Mr. KONATE Lassina	<u>Professionnel</u> <ul style="list-style-type: none"> Echange sur la rencontre. Visite au dispensaire trottoir. Mr. KONATE Lassina	<u>Professionnel</u> <u>Causerie autour du thé :</u> Inviter 2 responsables de Tié avec 2 ou 3 enfants de la rue pour causerie autour du problème. (Jardin Kaboré) Tout le monde	Libre	

NB. : Mr. KAZU souhaite rencontrer une Japonaise qui travaille dans une église de Bobo pour les enfants. • Evaluation

• Dîner de clôture

**KOBAYASHI
MICHIAKI**

SEMAINE 3 (SOUDEUR)

DRAFT

FRANCAIS

JOCV AVRIL – MAI 2001

	LUNDI 30 AVRIL	MARDI 1 ^{ER} MAI	MERCREDI 2 MAI	JEUDI 3 MAI	VENDREDI 4 MAI	SAMEDI 5 MAI
7 : 30 – 9 : 30	C ₉ : Parler de ses expériences professionnelles. (Passé composé et Imparfait).	Présentation et correction de la traduction du livret japonais. (reprenre la traduction au passé si nécessaire).	<u>Sujet de discussion</u> Les fêtes et festivals au Burkina / Japon.	C ₁₀ : Parler de son travail de Volontaire. (Style indirect)	Cuisine Burkinabè (Faire le marché pour préparer le déjeuner).	Sortie à la cascade de Banfora
9 : 30 – 10 : 00	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	
10 : 00 – 12 : 00	<u>Histoire au passé</u> Texte à mettre au passé (passé composé Vs Imparfait) (récit d'une expérience professionnelle). + - Traduction du livret japonais pour le lendemain.	<u>Texte à trous</u> : Complétez avec des prépositions simples (Fêtes et festivals / passé)	<u>Film</u> : "Ma fille ne sera pas excisée". + Echange de vue.	<u>Vrai ou faux</u> : Justifiez vos réponses sur les assertions relatives au travail du volontaire.	Cuisine Burkinabè	
12 : 00 – 14 : 45	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	
15 : 00 – 16 : 30	<u>Professionnel</u> - ONPE / Centre d'évaluation et de la formation professionnelle (CEFP) ▪ C'est quoi le CEFP ? ▪ Les tâches du CEFP. Jean	<u>Professionnel</u> ▪ L'activité du CEFP ▪ Durée de la formation. ▪ Participation à la formation. Mr. SOME Sylla	<u>Professionnel</u> Visite au C.E.F.P. de Bobo Mr. SOME Sylla	<u>Professionnel</u> ▪ La soudabilité des métaux. ▪ Les procédés de soudage (1) et (2). Jean	<u>Professionnel</u> ▪ Le matériel de soudage oxyacétylénique ▪ Les chalumeaux soudeurs ALSO	

60

KOBAYASHI
MICHIAKI

SEMAINE 4 (SOUDEUR)

DRAFT

FRANCAIS

JOCV AVRIL - MAI 2001

	LUNDI 7 MAI	MARDI 8 MAI	MERCREDI 9 MAI	JEUDI 10 MAI	VENDREDI 11 MAI	SAMEDI 12 MAI
7 : 30 - 9 : 30	C ₁₁ : Demander de l'aide en cas d'agression, de maladie, d'insécurité (venir de + infinitif). Verbe + de + infinitif Verbe + à + infinitif Verbe + infinitif.	C ₁₂ : Se renseigner sur les modes de transport et les conditions de voyage (prépositions à et en).	Exposé : Thème culturel libre (aspect de la culture japonaise).	Révision C ₁₁ et C ₁₂ (ALM) + Questions aux différents temps. (Passé - présent - futur).	▪ Détermination du niveau de langue	Départ Pour Ouaga
9 : 30 - 10 : 00	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	
10 : 00 - 12 : 00	<u>Professionnel</u> Visite à DON BOSCO + Echange	Interprétez les images suivant votre imagination..	<u>Etude de bande dessinée</u> : "La Princesse Yennega".	C ₁₃ : Parler de ses projets d'avenir.	▪ Adaptation une fois arrivé (e) au site. ▪ Sketch sur la vie du stage par les volontaires et le staff.	
12 : 00 - 14 : 45	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	
15 : 00 - 16 : 30	Situations + discussions (Bande dessinée à remettre : la Princesse Yennega) Jean	<u>Professionnel</u> ▪ Le matériel de soudage à l'arc électrique. ▪ Les électrodes enrobées ▪ Les joints. ALSO	<u>Professionnel</u> Visite au Lycée Professionnel de Bobo (Inviter 2 ou 3 professeurs de soudure pour la causerie autour du thé) Mr. KONATE. Professeur	<u>Professionnel</u> <u>Causerie autour du thé</u> : Inviter 2 ou 3 professeurs de soudure pour causerie autour du travail. Tout le monde	Libre	
				▪ Evaluation	▪ Dîner de clôture	

01

**YAMANAKA
KATSUICHIRO**

SEMAINE 3 (LABORANTIN)

DRAFT

FRANCAIS

JOCV AVRIL – MAI 2001

	LUNDI 30 AVRIL	MARDI 1 ^{ER} MAI	MERCREDI 2 MAI	JEUDI 3 MAI	VENDREDI 4 MAI	SAMEDI 5 MAI
7 : 30 – 9 : 30	C ₉ : Parler de ses expériences professionnelles. (Passé composé et Imparfait).	Présentation et correction de la traduction du livret japonais. (reprendre la traduction au passé si nécessaire).	<u>Sujet de discussion</u> Les fêtes et festivals au Burkina / Japon.	C ₁₀ : Parler de son travail de Volontaire. (Style indirect)	Cuisine Burkinabè (Faire le marché pour préparer le déjeuner).	Sortie à la cascade de Banfora
9 : 30 – 10 : 00	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	
10 : 00 – 12 : 00	<u>Histoire au passé</u> texte à mettre au passé (passé composé Vs Imparfait) (récit d'une expérience professionnelle). - Traduction du livret japonais pour le lendemain.	<u>Texte à trous</u> : Complétez avec des prépositions simples (Fêtes et festivals)	<u>Film</u> : "Ma fille ne sera pas excisée". + Echange de vue.	<u>Vrai ou faux</u> : Justifiez vos réponses sur les assertions relatives au travail du volontaire.	Cuisine Burkinabè	
12 : 00 – 14 : 45	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	
15 : 00 – 16 : 30	<u>Professionnel</u> - Organigramme du CHR de Banfora par le Volontaire. - Questions du Facilitateur sur l'organigramme et sur ses expériences du CHR de Banfora. - Termes techniques : nomenclature des actes de laboratoire. Jean	<u>Professionnel</u> ▪ <u>Les types d'examens</u> - En bactériologie - En parasitologie Jean	<u>Professionnel</u> <u>Les types d'examens</u> - En hématologie - En sérologie Jean	<u>Professionnel</u> ▪ Visite au laboratoire du CHNSS. (Voir Mr. SANOU Charles). ALSO	<u>Professionnel</u> ▪ Echange sur la sortie ▪ <u>Les types d'examens</u> - En biochimie - En Histopathologie HAZARA	

YAMANAKA

DRAFT

SEMAINE 4 (LABORANTIN)

KATSUICHIRO

FRANCAIS

JOCV AVRIL – MAI 2001

12

	LUNDI 7 MAI	MARDI 8 MAI	MERCREDI 9 MAI	JEUDI 10 MAI	VENDREDI 11 MAI	SAMEDI 12 MAI
7 : 30 – 9 : 30	<p>C₁₁ : Demander de l'aide en cas d'agression, de maladies, d'insécurité (venir de + infinitif).</p> <p>Verbe + de + infinitif Verbe + à + infinitif Verbe + infinitif.</p>	<p>C₁₂ : Se renseigner sur les modes de transport et les conditions de voyage (prépositions à et en).</p>	<p><u>Exposé</u> : Thème culturel libre (aspect de la culture japonaise).</p>	<p><u>Révision</u> C₁₁ et C₁₂ (ALM) Questions aux différents temps. (Passé – présent – futur).</p>	<p>▪ Détermination du niveau de langue</p>	<p>Départ Pour Ouagadougou</p>
9 : 30 – 10 : 00	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	
10 : 00 – 12 : 00	<p>Situations + Discussion + (Bande dessinée) à remettre : la Princesse Yennega</p>	<p>Interprétez les images suivant votre imagination..</p>	<p><u>Etude de bande dessinée</u> : "La Princesse Yennega".</p>	<p>C₁₃ : Parler de ses projets d'avenir.</p>	<p>▪ Adaptation une fois arrivé (e) au site. ▪ Sketch sur la vie du stage par les volontaires et le staff.</p>	
12 : 00 – 14 : 45	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	
15 : 00 – 16 : 30	<p><u>Professionnel</u> <u>Révision</u> Les types d'examens en bactériologie - parasitologie – hématologie. ▪ Voir possibilité d'aller à Exa-Lab</p> <p style="text-align: center;">HAZARA</p>	<p><u>Professionnel</u> Visite au laboratoire privé de la Pharmacie du Houet (Voir Mr. SOME Achille).</p> <p style="text-align: center;">HAZARA</p>	<p><u>Professionnel</u> <u>Révision</u> Les types d'examens en sérologie – biochimie-histopatologie.</p> <p style="text-align: center;">Jean</p>	<p><u>Professionnel</u> <u>Causerie autour du thé</u> : Inviter deux élèves laborantins de Bobo pour causerie autour de leur futur travail et des stages qu'ils auraient eus. (Voir Exa-Lab) Jardin Kaboré</p> <p style="text-align: center;">Tout le monde</p>	<p style="text-align: center;">Libre</p>	<p>▪ Evaluation ▪ Dîner de clôture</p>

	LUNDI 30 AVRIL	MARDI 1 ^{ER} MAI	MERCREDI 2 MAI	JEUDI 3 MAI	VENDREDI 4 MAI	SAMEDI 5 MAI
7 : 30 – 9 : 30	Expressions utiles en Moore	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Dialogue brouillé (Rc1) ▪ C₂ : Parler de sa famille 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Révision C₁ & C₂ (Exercice d'écoute et de compréhension)	C ₃ : Accepter ou refuser poliment une invitation. (Application)	Cuisine Burkinabè (Faire le marché pour préparer le déjeuner).	Sortie à la cascade de Banfora
9 : 30 – 10 : 00	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	
10 : 00 – 12 : 00	C ₁ : Saluer et se présenter ▪ (Application)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Suite C₂ (Application)	Teste : Mon amie Fatou (Description d'une personne).	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Mots interrogatifs ▪ Répondez aux questions 	Cuisine Burkinabè	
12 : 00 – 14 : 45	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	
15 : 00 – 16 : 30	<u>Professionnel</u> <ul style="list-style-type: none"> ▪ Organigramme du Ministère de l'Environnement et de l'Eau / Direction Générale des Eaux et Forêts. ▪ Questions du facilitateur sur l'organigramme présenté et sur ses expériences du Japon. ▪ Objectifs généraux / Attributions de la Direction Générale des Eaux et Forêts. (Comparaison avec l'élevage : complémentaire ou conflictuel ?). HAZARA	<u>Professionnel</u> <ul style="list-style-type: none"> ▪ Le domaine forestier (Résumer les différents types de forêts. Le document est remis au volontaire avec des questions précises qu'il préparera pour le lendemain). HAZARA	<u>Professionnel</u> - Visite à la Direction de la foresterie + Visite d'une pépinière. ALSO	<u>Professionnel</u> <ul style="list-style-type: none"> ▪ La gestion forestière. ▪ Les 3 luttes Jean	<u>Professionnel</u> <u>Invités :</u> <ul style="list-style-type: none"> ▪ Programme National d'aménagement des forêts. (But et objectifs - Champ d'application - difficultés sur le terrain dans le travail des agents de sensibilisation). Jean	

DRAFT

KAWAI
TSUNEHIRO

SEMAINE 4 (FORESTIER)

M O O R E

JOCV AVRIL – MAI 2001

	LUNDI 7 MAI	MARDI 8 MAI	MERCREDI 9 MAI	JEUDI 10 MAI	VENDREDI 11 MAI	SAMEDI 12 MAI
7 : 30 – 9 : 30	C ₄ : Orienter quelqu'un et se faire orienter.	C ₅ : Acheter un article au marché local.	▪ échange sur la sortie au marché. ▪ Picture Talk	C ₆ : Parler de son travail de Volontaire.	▪ Détermination du niveau de langue.	Départ Pour Ouaga
9 : 30 – 10 : 00	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	
10 : 00 – 12 : 00	▪ Application ▪ Phrases brouillées	▪ Suite de la C ₅ ▪ Sortie au marché de St Etienne.	▪ Révision C ₄ & C ₅ (TPR)	Fill in the blanks (dialogue à trous)	▪ Adaptation une fois arrivé (e) au site. ▪ Sketch sur la vie du stage par les volontaires et le staff.	
12 : 00 – 14 : 45	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	
15 : 00 – 16 : 30	<u>Professionnel</u> Visite à l'école de foresterie (inviter 2 ou 3 élèves forestiers pour la causerie autour du thé). Jean	<u>Professionnel</u> ▪ Programme national d'aménagement des forêts : - Forêts publiques (forêts de l'Etat – forêts des collectivités territoriales). - Forêts privées (Forêts sacrées – Forêts des particuliers). - (Remettre les cartes sur les zones socio-écologiques). Jean	<u>Professionnel</u> ▪ Cartes : zones socio-écologiques. ▪ Visite à la forêt classée de Koro. HAZARA	<u>Professionnel</u> <u>Causerie autour du thé</u> : Inviter 2 ou 3 élèves forestiers de Dindéresso qui habiteraient à Bobo. Pour causerie autour du métier. Tout le monde	Libre	
				▪ Evaluation	▪ Dîner de clôture	

11

MIZUNO
CHIE

SEMAINE 3 (ELEVEUR)

M O O R E

DRAFT.

JOCV AVRIL – MAI 2001

	LUNDI 30 AVRIL	MARDI 1 ^{ER} MAI	MERCREDI 2 MAI	JEUDI 3 MAI	VENDREDI 4 MAI	SAMEDI 5 MAI
7 : 30 – 9 : 30	Expressions utiles en Moore	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Dialogue brouillé (R_{C1}) ▪ C₂ : Parler de sa famille 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Révision C₁ & C₂ (Exercice d'écoute et de compréhension)	C ₃ : Accepter ou refuser poliment une invitation. (Application)	Cuisine Burkinabè (Faire le marché pour préparer le déjeuner).	Sortie à la cascade de Banfora
9 : 30 – 10 : 00	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	
10 : 00 – 12 : 00	C ₁ : Saluer et se présenter (Application)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Suite C₂ (Application)	Teste : Mon amie Fatou (Description d'une personne).	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Mots interrogatifs ▪ Répondez aux questions 	Cuisine Burkinabè	
12 : 00 – 14 : 45	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	
15 : 00 – 16 : 30	<u>Professionnel</u> - Organigramme de la Direction Régionale des Ressources Animales d'Ouhritenga. - Questions du facilitateur sur l'organigramme et sur ses expériences de Ziniaré. - Objectif généraux/Attributions de la Direction Régionale des Ressources Animales. (Comparaison avec la foresterie : complémentaire ou conflictuel ?).	<u>Professionnel</u> - Contraintes au développement de l'élevage au Burkina Faso. (contraintes liées au parcours ; à la santé animale ; au matériel génétique exploité) - Mode d'élevage (Remettre une copie des documents à la volontaire avec des questions précises qu'elle prépare pour le lendemain).	<u>Professionnel</u> - Anatomie des animaux. - Visite à la Direction Régionale des Ressources Animales. (Inviter 2 agents de sensibilisation).	<u>Professionnel</u> - Les contraintes liées à la recherche zootechnique et vétérinaire. - Les contraintes institutionnelles.	<u>Professionnel</u> <u>Invités</u> : Atouts et enjeux de l'élevage au Burkina (Acquis sur le plan de l'encadrement et de la professionnalisation des éleveurs - opportunités - enjeux et menaces - difficultés liées au travail des agents).	
	HAZARA	HAZARA	HAZARA	Jean	Jean	

	LUNDI 7 MAI	MARDI 8 MAI	MERCREDI 9 MAI	JEUDI 10 MAI	VENDREDI 11 MAI	SAMEDI 12 MAI
7 : 30 – 9 : 30	C ₄ : Orienter quelqu'un et se faire orienter.	C ₅ : Acheter un article au marché local.	<ul style="list-style-type: none"> échange sur la sortie au marché. Picture Talk 	C ₆ : Parler de son travail de Volontaire.	<ul style="list-style-type: none"> Test de langue Evaluation 	Départ Pour Ouaga
9 : 30 – 10 : 00	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	<i>Pause</i>	
10 : 00 – 12 : 00	<ul style="list-style-type: none"> Application Phrases brouillées 	<ul style="list-style-type: none"> Suite de la C₅ Sortie au marché de St Etienne. 	<ul style="list-style-type: none"> Révision C₄ & C₅ (TPR) 	Fill in the blanks (dialogue à trous)	<ul style="list-style-type: none"> Adaptation une fois arrivé (e) au site. Sketch sur la vie du stage par les volontaires et le staff. 	
12 : 00 – 14 : 45	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	<i>Déjeuner - Sieste</i>	
15 : 00 – 16 : 30	<u>Professionnel</u> <ul style="list-style-type: none"> La finalité et les objectifs du secteur de l'élevage au Burkina. Termes techniques : Définition de quelques mots usuels (animaux et habitat – alimentation – matériel d'élevage – infrastructure d'élevage – Reproduction...) <p style="text-align: center;">ALSO</p>	<u>Professionnel</u> Visite à la ferme de Mme KAM <p style="text-align: center;">ALSO</p>	<u>Professionnel</u> Visite à la ferme traditionnelle. <p style="text-align: center;">ALSO</p>	<u>Professionnel</u> <u>Causerie autour du thé</u> : Inviter 2 agents de sensibilisation d'élevage pour causerie autour de leur travail. <p style="text-align: center;">Tout le monde</p>	Libre	
				<ul style="list-style-type: none"> Evaluation 	<ul style="list-style-type: none"> Dîner de clôture 	

NB. : - Elle voudrait visiter l'abattoir
 - Elle a des documents techniques
 - Elle voudrait connaître l'organisation du village.

MINISTERE DE LA JEUNESSE ET DES SPORTS

SECRETARIAT GENERAL

DIRECTION GENERALE DE L'INSTITUT
NATIONAL DE LA JEUNESSE, DE
L'EDUCATION PHYSIQUE ET DES SPORTS

BURKINA FASO
Unité-Progrès-Justice

**PRESENTATION DE L'INSTITUT
NATIONAL DE LA JEUNESSE DE
L'EDUCATION PHYSIQUE
ET DES SPORTS**

Février 2001

CREATION

L'Institut National de la Jeunesse, de l'Education Physique et des Sports, en abrégé INJEPS est créé par le décret n°76/228.PRES/JS du 5 juillet 1976.

Il est érigé en établissement public à caractère administratif (EPA) par le décret n° 465/PRES/MJS du 30 décembre 1996.

L'Institut National de la Jeunesse, de l'Education Physique et des Sports est placé sous la tutelle administrative et technique du Ministre de la Jeunesse et des Sports ;

PRINCIPE ET ORGANISATION

a) PRINCIPES

L'Institut National de la Jeunesse, de l'Education Physique et des Sports est un établissement d'enseignement professionnel chargé :

- d'assurer la formation initiale des personnels enseignants d'éducation physique et sportive d'éducation permanente
- d'assurer la formation continue de ce même personnel ainsi que des animateurs des groupements associations et mouvements de jeunesse ;
- de promouvoir la recherche pédagogique fondamentale et appliquée à l'évolution des techniques sportives e d'éducation permanente ;
- de promouvoir et de développer la recherche, le diagnostic et la thérapeutique en médecine du sport et en particulier d'élaborer les tests de détection et de présélection des jeunes talents.

b) ORGANISATION

L'Institut National de la Jeunesse, de l'Education Physique et des Sports se compose d'une section Jeunesse et d'une section Education Physique et des Sports.

Les organes de l'INJEPS sont :

- La Direction Générale
- Le Conseil d'Administration

A/ LA DIRECTION GENERALE

L'Institut national de la Jeunesse, de l'Education Physique et des Sports est dirigé par un Directeur Général nommé par décret en conseil des ministres.

.../...

- La Direction Générale de l'INJEPS est composé de trois Directions
- La Direction des Etudes et de la Formation Continue
 - L'Agent Comptable
 - La Direction de la Médecine Sportive.

B/ LE CONSEIL D'ADMINISTRATION

L'Institut national de la Jeunesse, de l'Education Physique et des Sports est administré par un Conseil d'Administration composé comme suit :

- Deux membres de la tutelle technique
- Un membre représentant la tutelle financière
- Un membre représentant de la santé
- Un membre représentant le ministère de l'Enseignement Secondaire, Supérieur et de la Recherche Scientifique (MESSRS)
- Un membre représentant le Ministère de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation (MEBA)
- Un membre représentant le personnel
- Un membre représentant les étudiants

Le Directeur Général, l'Agent comptable et le Contrôleur financier participent avec voix consultative aux réunions du Conseil d'Administration.

FILIERES D'ETUDES ET DIPLOMES PREPARES

L'Institut National de la Jeunesse, de l'Education Physique et des Sports compte pour ce qui concerne le nombre d'étudiant en formation **cent cinquante sept (157)** étudiants dont seulement **vingt cinq (25)** de la Section Jeunesse.

SECTION EDUCATION PHYSIQUE ET SPORTIVE

a) MAITRISE D'EDUCATION PHYSIQUE ET SPORTIVE

Durée des études : 3 ans
 Diplôme : Certificat d'Aptitude à la Maîtrise d'Education Physique et Sportive.
 Conditions d'accès : BEPC + concours direct

Il est offert aux titulaires du BEPC d'accéder à ce diplôme à titre privé individuel ou soutenus par une institution par un test de recrutement et moyennant le paiement de frais de scolarité fixés à **deux cent cinquante mille (250.000) francs CFA.**

Section EPS : 132

1^{ère} année 44
 2^{ème} année 53
 2^{ème} année professionnelle 16
 3^{ème} année professionnelle 19

Section EP : 25

2^{ème} année 15
 2^{ème} année professionnelle 5
 3^{ème} année professionnelle 5

b) PROFESSORAT ADJOINT D'EDUCATION PHYSIQUE ET SPORTIVE

Durée des études : 3 ans

Diplôme : Certificat d'Aptitude au professorat Adjoint d'Education Physique et Sportive.

Conditions d'accès : Certificat d'Aptitude à la Maîtrise d'Education Physique et Sportive + Concours Professionnel après cinq (5) ans sur le terrain.

Les frais de scolarité pour ce diplôme sont fixées à trois cent mille (300.000) francs CFA par an pour les candidats inscrits à titre privé. Le test de sélection est aussi de rigueur.

SECTION JEUNESSE

a) MAITRISE D'EDUCATION PERMANENTE

Durée des études : 3 ans

Diplôme : Certificat d'Aptitude à la Maîtrise d'Education Permanente

Conditions d'accès : BEPC + concours direct

Il est possible aux candidats à titre privé ou soutenus par une institution de suivre la formation aux mêmes conditions que celles offertes pour la formation en maîtrise d'éducation physique et sportive.

b) CONSEILLAT D'EDUCATION PERMANENTE

Durée des études : 3 ans

Diplôme : Certificat d'Aptitude au Conseilat d'Education Permanente

Condition d'accès : Certificat d'Aptitude à la Maîtrise d'Education, Permanente + Concours Professionnel après cinq (5) ans au moins sur le terrain.

Les conditions sont les mêmes pour les candidats inscrits à titre privé que celles de la formation des Professeurs Adjoints d'EPS.

PERSONNEL ENSEIGNANT

a) PROVENANCE

- Université de Ouagadougou et des grandes écoles (ENAM, ENAREF)
- Ministère de la Jeunesse et des Sports
- Ministère des Arts et de la Culture

b) CRITERES DE RECRUTEMENT

Sur dossier et d'après les diplômes ci-après

a) Diplômes universitaires

- Maîtrise en linguistique
- Doctorat 3^e cycle.

- b) Diplômes professionnels
certificat d'Aptitude au professorat d'éducation Physique et Sportive
(CAPEPS)
- Certificat d'Aptitude au Professorat d'Education Permanente
(CAPEP)
- Certificat d'Aptitude au Conseillat Principal de Jeunesse et d'Animation
(CPJA)

c) EFFECTIF ENSEIGNANTS

Section Education Physique et Sportive : 21 enseignants dont 14 permanents
et 7 vacataires

Section Jeunesse: 15 enseignants dont 6 permanents et 9 vacataires

PERSPECTIVES

Elévation, du niveau de recrutement pour les diplômes de maîtrise au
baccalauréat. Recrutement et formation de professeurs certifiés d'Education
Physique et Sportive

『ブルキナファソ』

- 1 プロジェクト名 :ブルキナ・ファソ国地方苗畑改修計画グループ派遣
(Projet de Rehabilitation des Pepinieres Regionales)
- 2 協力期間 : 2001年から2005年
- 3 プロジェクトサイト : カヤ (中北部)、ドリ (サヘル地方)、ワイグヤ (北部)、ナグバングレ、デドゥグ
- 4 相手国実施機関 : 環境・水省
- 5 要請背景 : JICA無償資金協力「地方苗畑改修計画」が改修した6つの地方苗畑の内の3つの苗畑の維持管理、アクションプランの活動について協力隊に支援を要請した。
- 6 プロジェクトの目的 : 「地域住民に対する苗木生産技術の移転」と「地域住民のための植林システムの構築」
- 7 協力活動内容 :
 - (1) アクションプランの作成支援 (2002年から2005年まで)
 - (2) 定期的なM&E (モニタリングと評価) の実施
 - (3) 地域住民に対する研修事業の改善と強化
 - (4) 植林事業の普及・促進
 - (5) 砂漠化防止用苗木の生産
 - (6) 各種情報の管理 (育苗記録、植林記録)
- 8 活動の現状 : 12/3次隊で植林隊員1名が既に派遣され、13/1次隊で5名更に派遣される。隊員活動は始まっていないが、苗畑の改修工事は終了し、ブルキナ・ファソ国政府は約束された予算 (約1千700万円) を確保した。
- 9 派遣隊員数及び職種 : 植林及び村落開発普及員

植林	1名 (12/3)	2名 (13/1)
村落開発普及員	3名 (13/1)	
- 10 他の経済・技術協力との関係 : JICA無償資金協力事業との連携 (フォローアップ)
- 11 調査団 : 2001.4 巡回指導調査団 (事前調査)

協力隊要請計画書（意識）

★ まえがき

ブルキナ・ファソにおいて、2000年1月10日より地方苗畑改修計画が日本の援助により行われている。およそ10億CFAにもおよぶ援助予算により、全国10個所の環境・水地方局の国営苗畑の内、次の6ヶ所を整備する。

- Centre
- Centre Nord
- Centre Ouest
- Sahel
- Boucle du mouhoun.

地方苗畑改修計画は、2001年の3月に終了する予定である。ブルキナ・ファソ政府は、その後の維持管理の分野に協力隊に支援してもらうことを要請する。協力してもらう目的は次の2つである。

- 地域住民に対する苗木生産技術の移転
- 地域住民のために植林システムの構築

* 計画の期間.

2001～2005年の5か年計画

★ 業務内容

協力隊員は環境・水地方局の一員として技術・組織化等の支援を行なう。

★ 協力隊員の要請内容

性別は問わないが、バカロレア取得程度の学力が必要。もし、専攻を挙げるなら、森林学または科学が望ましい。

★ 職種と職務内容

次の2職種を各苗畑に各1名ずつ配置したい。

- 植林
 - 国営苗畑での苗木生産および活動のサポート
 - 住民苗畑のサポート
 - 植林キャンペーンのサポート
 - 環境・水地方局への技術支援
- 村落開発（普及員として）→ 村づくり
 - 啓蒙活動のサポート
 - 植林サイトへの植林のサポート
 - 環境・水地方局への技術支援
 - 村落での小規模プロジェクトの推進のサポート
 - 植林キャンペーンのサポート

★ 本計画に対して支援体制

- 村有林・森林整備局に配属されている JICA 専門家は、協力隊員の活動に対して調整役となる。
- 地方苗畑改修計画のチームリーダーと各地方局長は、本計画の支援を行なう。
- 各地方局長が各協力隊員カウンターパートとなる。

TERMES DE REFERENCE DES VOLONTAIRES JAPONAIS

★ PREAMBULE

Dans le cadre de la coopération technique avec le Japon le Burkina Faso a bénéficié depuis le 10 janvier 2000, d'un projet visant à la réhabilitation des pépinières Régionales.

Ce projet d'un montant de plus de trois milliard couvre les régions :

- Centre
- Centre Nord
- Centre Ouest
- Sahel
- Boucle du mouhoun.

Ce projet dont la mise en place des infrastructures devra prendre fin en Mars 2001 visera essentiellement la formation des producteurs privés et l'organisation du reboisement villageois dans une certaine mesure.

Pour une mise en œuvre efficace du projet le gouvernement du burkinabé Faso a requis auprès du Japon l'envoi de volontaires japonais.

* PERIODE CONCERNEE.

L'envoi des volontaires japonais au profit du Projet couvrira la période 2001 à 2005 correspondant à la durée du projet.

★ OBJETIFS

L'objectif de l'assistance des volontaires japonais est de fournir aux Directions Régionales de l'Environnement et des Eaux et Forêts un appui technique, méthodologique et organisationnel.

★ PROFIL

Les volontaires japonais requis de sexe masculin ou féminin devraient avoir un niveau baccalauréat et des notions en foresterie et sociologie.

★ MISSIONS

Deux types de missions seront confiées aux volontaires :

- FORESTERIE
 - Appui à la production de plants et à la planification des activités de pépinières.
 - Appui à la formation des pépiniéristes privés
 - Appui à la campagne de reforestation.
 - Conseiller technique du DREEF.
- ANIMATEUR
 - Appui à la réalisation des programmes de sensibilisation
 - Appui à la planification des chantiers de reboisement
 - Conseiller technique de DREEF
 - Promotion de micro-projet villageois
 - Suivi de la campagne de reboisement

★ ORGANIGRAMME

- L'expert de la JICA, conseiller technique auprès de la DFVAF est chargé de la coordination et de la planification des activités des volontaires japonais .
- Le chef de Projet Réhabilitation des Pépinières Régionales est chargé de concert avec les Directeurs régionaux de l'élaboration des plans de travail des volontaires japonais
- Chaque volontaire aura au niveau régional un homologue désigné par le Directeur Régional.

ブルキナ・ファソ国 地方苗畑改修計画
プロジェクト・デザイン・マトリックス

プロジェクトの要約	指 標	指標データ入手手段	外部手段
<p>上位目標</p> <p>「ブ」国の砂漠化が防止され、「ブ」国農牧畜業生産が増大される。 住民の生活環境が向上する。</p>	<p>「ブ」国の森林面積及び植林面積が増大した。 「ブ」国の農牧業生産高が増大した。</p>	<p>活動年次報告書 植林年次報告書 各種砂漠化防止関係プロジェクト報告書</p>	<p>砂漠化防止が「ブ」国の重要政策のひとつと認識される。</p>
<p>プロジェクト目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民参加による植林が普及される。 砂漠化に対する住民意識が向上する。 伐木による耕地拡大が減少する。 森林管理行政が整備される。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の森林の面積が拡大した。 地域の砂漠化防止活動が活性化した。 砂漠化防止用樹種の生産が増加した。 住民意識活動が強化された。 	<p>県及び郡の四半期及び年次報告書 各種砂漠化防止関係プロジェクト報告書・活動計画書 SP/CONAGESE など関係機関による研究レポート</p>	<p>「ブ」国の国、県、郡、村の各レベルが砂漠化防止を重要政策として位置付ける。</p>
<p>成 果</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の管理レベルが向上する。 住民が自主的に決められた場所（面積）の植林をする。 住民が植林地の自主管理をする。 砂漠化の拡大が防止される。 優良苗木が充分量供給される。 情報交換の場が広がり、情報獲得の機会が増える。 開発パートナーと地方局苗畑の協力が強化される。 	<ul style="list-style-type: none"> 砂漠化防止用苗木の生産量が増大する。 対象村落の対する砂漠化の影響が減少する。 住民による植林活動が増加する。 住民に対する研修効果があり、苗木の質が向上する。 住民の知識技術レベルが向上する。 県・郡・村に対する相互の支援業務が増加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 県・郡の記録・統計 施設の苗畑生産記録 村の植林記録 村の研修記録 各地方局の四半期報告書 各県の四半期報告書 各郡の四半期報告書 ソフトコンポーネントによる報告書・記録 	<ul style="list-style-type: none"> 研修を受けた住民が植林活動を続ける。 県・郡の M&E 及び技術指導が継続する。 植林事業を通して、住民の生活環境が改善される。
<p>活 動</p> <ul style="list-style-type: none"> Action-Plan の作成 2002 年、2003 年 定期的 M&E の実施 研修事業の改良と強化 植林事業の普及、促進 砂漠化防止用苗木の生産 各種情報の管理（育苗記録、植林記録など） 定期的会議の開催（NDU、地表局内県、開発パートナー等との定例会議） 施設の改修・修理工事 	<p>投 入</p> <ul style="list-style-type: none"> 無償資金協力 地方局苗畑施設改修 管理棟、研修棟、倉庫、作業場、守衛棟等 苗床、水利施設 苗畑への資機材供与 運搬機材、水利関連機材、作業用機材 研修機材 JICA 専門家派遣（植林） 「ブ」国政府予算、PIP 及び本プロジェクト管理・調整室運営予算、地方局レベルでの運営経費 開発パートナーの投資（国家植林プロジェクト、NGO、住民協会など） 青年海外協力隊 	<ul style="list-style-type: none"> 「ブ」国政府の負担事業が正しく実施される。 「地方局苗畑兼研修センター」の政策が維持される。 基礎データの記録がある。 財政が確保される。 計画的維持管理が実施される 既存の NGO、アソシエーションなど住民活動が継続している。 日本の技術協力（専門家・JOCV）の継続 <p>前提条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期的に土地利用（林地）が保証される。 森林資源の市場性が存在する。 植林分野の開発パートナーの数が激減しない。 	

Projet de Réhabilitation des pépinières régionales dans la République du Burkina Faso

Matrice de conception du Projet

Résumé du projet	Indicateurs vérifiables objectivement	Source des indicateurs	Conditions extérieures
Objectif général Lutte contre la désertification au Burkina et accroître la production agro-pastorale nationale. Améliorer les conditions de vie des populations.	Les superficies de forêts de la reforestation ont augmenté au Burkina Faso La production agro-pastorale a augmenté au Burkina Faso.	Rapports annuels d'activités Rapports annuels de reforestation Rapports des différents projets relatifs à la lutte contre la désertification	La lutte contre la désertification doit être considérée comme une des mesures importantes pour le Burkina Faso.
Objectifs du projet <ul style="list-style-type: none"> Promouvoir le reboisement avec la participation des populations Sensibiliser les populations à l'importance du reboisement Limiter l'accroissement des terres cultivées par l'abatage des arbres Mettre en place l'administration pour la gestion des forêts 	<ul style="list-style-type: none"> Les superficies des forêts régionales ont augmenté Les activités de lutte contre la désertification ont pris de l'ampleur dans les régions. La production des essences à des fins de lutte contre la désertification a augmenté. Les activités organisées des populations ont augmenté 	Rapports trimestriels et annuels des départements et des cantons Rapports et programmes d'activités des différents projets relatifs à la lutte contre la désertification Rapports de recherche des organismes concernés, tels SP/ CONAGESE	La lutte contre la désertification doit être placée parmi les mesures importantes par le pays, les départements, les cantons et les villages.
Résultats <ul style="list-style-type: none"> Les capacités de gestion des agents seront améliorées, rendant possible le fonctionnement efficace des installations. Les populations reboiseront les emplacements (superficies) choisis indépendamment. Les populations géreront indépendamment les zones de reboisement. La désertification sera stoppée. Des plants améliorés seront fournis en qualité suffisante. Les lieux d'échange des informations se répandront et les occasions d'obtention d'informations augmenteront. Les relations de coopération entre les partenaires de coopération et les pépinières régionales seront renforcées 	<ul style="list-style-type: none"> La production de plants pour la lutte contre la désertification augmentera. L'effet de la désertification se fera moins sentir dans les villages ciblés. Les activités de reboisement par les populations augmenteront. Les résultats des recherches bénéficieront plus aux populations et la qualité des plants augmentera. Le niveau technique et les connaissances des populations s'amélioreront. Les activités d'assistance mutuelle entre les départements, provinces et villages augmenteront. 	<ul style="list-style-type: none"> Archives et statistiques des départements et cantons Relevés de production des installations Archives de reboisement des villages Documents de recherche des villages Rapports trimestriels de chaque direction régionale Rapports trimestriels de chaque département Rapports trimestriels de chaque province Autres rapports et archives 	<ul style="list-style-type: none"> Les populations bénéficiant de la formation devront continuer les activités de reboisement. Le contrôle/évaluation et l'encadrement technique des départements et provinces devra continuer. Par le biais des travaux de reboisement, les conditions de vie des populations s'amélioreront.
Activités Fonctionnement, gestion et maintenance <ul style="list-style-type: none"> Contribution à l'élaboration des plans d'actions 2002.2003 Contrôles et évaluations périodiques Améliorations et renforcement de la recherche Diffusion, promotion du reboisement Production de plants pour la lutte contre la désertification Gestion des différentes données (relevés des semis, relevés des reboisements, etc.) Organisation de réunions périodiques (réunions régulières au DNP, dans les directions régionales, avec les départements, avec les partenaires de développement, etc.) Travaux de réhabilitation/réparations des installations	Engagements <ul style="list-style-type: none"> Aide financière non remboursable Réhabilitations des installations des pépinières régionales Bureau administratif, centre de formation, entrepôt, atelier, local du gardien Planches de semis, ouvrages hydrauliques Fourniture d'équipements aux pépinières Equipements de transport, équipements hydrauliques, outillage Equipements pour les stages Expert jica, conseiller en reboisement Budget du gouvernement burkinabé, PIP, budget d'exploitation de la DNP, dépenses d'exploitation au niveau des directions régionales Investissements des partenaires de développement (projets de reboisement nationaux, ONG, organisation de résidents, etc.) Volontaires japonais 		<ul style="list-style-type: none"> Les responsabilités financières du gouvernement Burkinabé doivent être correctement assumées. La politique des pépinières régionales (= centres de formations) doit être maintenue. Les données de base doivent être conservées Les finances doivent être conservées Les finances doivent être assurées La gestion et la maintenance planifiées doivent être réalisées. Les activités des ONG existantes et des populations par le biais d'associations devront continuer L'assistance technique du Japon (expert jica, volontaires) doit être poursuivie
			Conditions préalables <ul style="list-style-type: none"> L'occupation des sols (zones boisées) doit être garantie à long terme. Les ressources forestières doivent être commercialisables. Le nombre de partenaires de développement dans le domaine du reboisement ne doit pas diminuer considérablement.

添付資料 2

「ブ」国地方苗畑改修計画 Action-Plan 地方局の機能化 (Action-Plan for Functioning Regional Office)

Activité	An 2000				Indicateurs	Sources	Budget du gouvernement	Budget de la JICA	Autres soutiens	
	1 ^{er} trimestre	2 ^{ème} trimestre	3 ^{ème} trimestre	4 ^{ème} trimestre						
目標 - 「ブ」国の森林管理行政が整備される。 - 砂漠化に対する住民の意識が向上し、植林が普及する。 - 耕作地の拡大が減少し、住民による森林管理が普及する。										
1. 年間事業計画と予算 植林、苗木生産、研修、指導・啓発などについて、対象地区、規模、時期および経費について実行計画をたてる。										
2. 財務管理 予算管理、物品購入管理（種、スベアパーツ、ガンソリン代など）及び地方局特別収入管理を行う。										
3. 情報管理 生産苗木の育苗記録（収種、樹種、本数、播種、肥料、散水量、成長、山だし、販売などの記録） 植林の記録（事業主体、樹種、本数、時期、場所・面積、植林間隔、成長記録など） 研修の記録（対象者、人数、期間、テーマ、研修講師、費用負担） 気象データの記録（温度、湿度、降水）										
4. 研修実施 地方局での研修実施：職員、普及員及び住民の研修 県または郡事務所での研修、村またはサイト研修										
5. 苗畑作業 種子手配、保管、前処理、播種、土手配、肥料手配、土と肥料の混合、ポツティング、散水										
6. 植林実施 サイト踏査、測量、住民手配、溝掘り、植林										
7. 啓発・指導、国有林見回り 管理及びキャンペーンなどの実施 場所、村、対象者、実施期間など決定及び実施										
8. 地方局内月間会議 定期的実施										
9. 月間関係者会議（県、郡及び開発パートナー） 定期的実施										
10. 施設オペレーションと維持管理 水利施設の操作及び修理（ポンプ、太陽光発電、水柱、貯水槽など）										

Projet de réhabilitation des pépinières régionales dans la République du Burkina Faso
Plan d'action pour rendre les directions régionales fonctionnelles

Activité	An 2000				Indicateurs	Sources	Budget du gouvernement	Budget de la JICA	Autres soutiens	
	1 ^{er} trimestre	2 ^{ème} trimestre	3 ^{ème} trimestre	4 ^{ème} trimestre						
Objectifs - Mettre en place l'administration pour la gestion des forêts au Burkina Faso - Sensibiliser les populations à l'importance de la lutte contre la désertification, promouvoir la reforestation - limiter l'accroissement des terres cultivées promouvoir la gestion des forêts par les populations										
1. Programme annuel des travaux et budget Etablir un plan d'exécution pour ce qui est de la reforestation de la production de plants, de la formation, de l'encadrement et de la sensibilisation, en précisant les zones ciblées, leur étendue et les périodes.										
2. Gestion financière Assurer la gestion du budget, la gestion des achats (semences, pièces détachées, essence, etc.) et la gestion des revenus des directions régionales										
3. Gestion des informations Relevés sur les plants (récoltes des graines, essences, nombre de plants, semage, engrais, quantité d'eau d'arrosage, croissance, transport sur le site de plantation, vente, etc.) relevés sur le reboisement (essences, nombre de plants, dates, lieux, surfaces, espacement, croissance etc.), relevés sur les stages (personnes ciblées, nombre de participants, thèmes, instructeurs, prise en charge des dépenses etc.) relevés météorologiques (température, humidité, précipitations)										
4. Exécution des stages Exécution des stages dans les directions régionales : formation d'employés, agents, résidents										
5. Travaux dans les pépinières Préparation des semences, conservation, prétraitement, préparation de la terre, préparation de l'engrais, mélange de la terre et de l'engrais, mise en pots, arrosage										
6. Reforestation Reconnaissance du site, levés, préparation de la population, creusage du canal d'amenée, reforestation										
7. Sensibilisation, encadrement, surveillance des forêts classées Mise en place de la gestion et des campagnes Décisions pour ce qui concerne les lieux, les villages, les personnes ciblées et les périodes de réalisation										
8. Réunions mensuelles au sein des directions régionales Organisation de réunions périodiques										
9. Réunions mensuelles entre les responsables (départements, cantons et partenaires de développement) Organisation de réunions périodiques										
10. Fonctionnement, maintenance et gestion des installations Fonctionnement et réparation des ouvrages hydrauliques (pompes, systèmes d'énergie solaire, prises d'eau, châteaux d'eau, etc.)										

(Annexe 1)

Planning des activités des volontaires japonais dans le cadre du projet réhabilitation des pépinières régionales

DOMAINE	MEMBRE	L'ANNEE FISCALE 2001														
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
Expert de JICA	Jotaro YASUHISA															
Homologue de Expert de JICA	Siaka COULIBALY															
Chef du Projet																
DREEF / Centre (Ouagadougou)	Foresterie															
	Animateur															
DREEF / Centre Ouest (Koudougou)	Foresterie															
	Animateur															
DREEF / Centre Nord (Kaya)	Foresterie															
	Animateur															
DREEF / Nord (Ouabougouya)	Foresterie															
	Animateur															
DREEF / Boucle du Mouhoun (Dedougou)	Foresterie															
	Animateur															
DREEF / Sabel (Doui)	Foresterie															
	Animateur															
Rapport		A/P		R/T				R/T				R/T, R/A				R/T
Activité de production des plants																
Plantation																
Animation / Sensibilisation																
Formation pour pépiniériste privé																
Suivi des plantations																

A/P Action Plan
 R/A Rapport Annuel
 R/T Rapport trimestriel